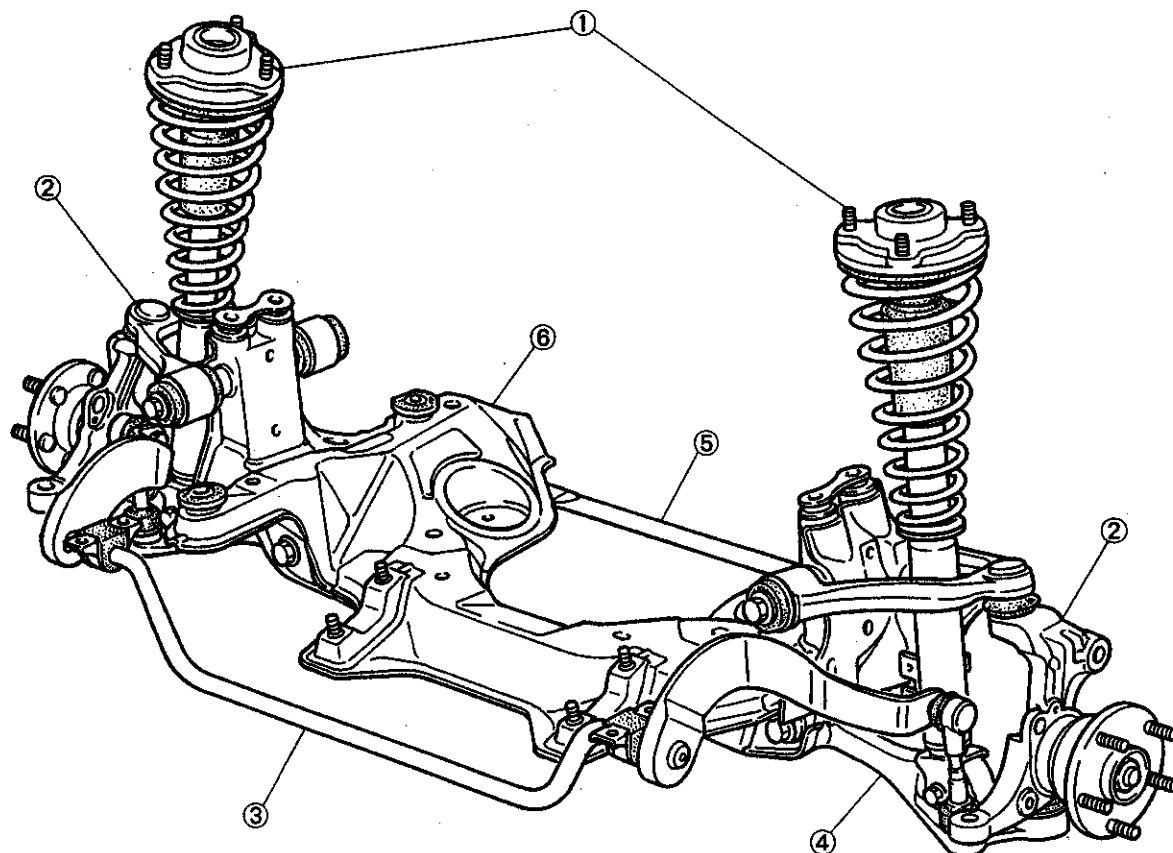


インデックス	R-2
トラブル・シューティング・ガイド	R-4
ホイール・アライメント	R-5
作業前の準備品	R-5
作業前の点検	R-5
フロント・ホイール・アライメント	R-6
リヤ・ホイール・アライメント	R-6
フロント・サスペンション	
(ダブル・ウィッシュボーン)	R-13
作業前の準備品	R-13
フロント・ショック・アブソーバ アンド	
スプリング	R-14
アッパ・アーム	R-18
フロント・スタビライザ	R-20
ロア・アーム	R-22
クロスメンバ・ブレイス	R-24
クロスメンバ	R-25
リヤ・サスペンション	
(ツイン・ダンパ付きE型マルチリンク)	R-27
作業前の準備品	R-27
リヤ・ショック・アブソーバ アンド	
スプリング/サブ・ダンパ	R-28
アッパ・リンク/ロア・リンク	R-32
リヤ・スタビライザ	R-33
トレーリング・アーム	R-35
サブフレーム	R-36

インデックス

フロント・サスペンション



フロント・ホイール・アライメント

切れ角: $37^{\circ} \pm 2^{\circ}$ (内側)、 $33^{\circ} \pm 2^{\circ}$ (外側)キャンバ: $0^{\circ} 05' \pm 45'$ キャスト: $9^{\circ} 00' \pm 45'$ トータル・トーイン: $4 \pm 3 \text{ mm}$ ($0^{\circ} 22' \pm 16'$)キングピン角: $13^{\circ} 10'$ サイド・スリップ: $-5 \text{ mm} \sim 5 \text{ mm}$ 1. フロント・ショック・アブソーバ
アンド スプリング

取外し/取付け..... p. R-14

分解/点検/組付け.....

..... p. R-15

2. アップ・アーム

取外し/点検/取付け.....

..... p. R-18

3. フロント・スタビライザ

取外し/点検/取付け.....

..... p. R-20

4. ロア・アーム

取外し/点検/取付け.....

..... p. R-22

5. クロスメンバ・ブレイス

取外し/点検/取付け.....

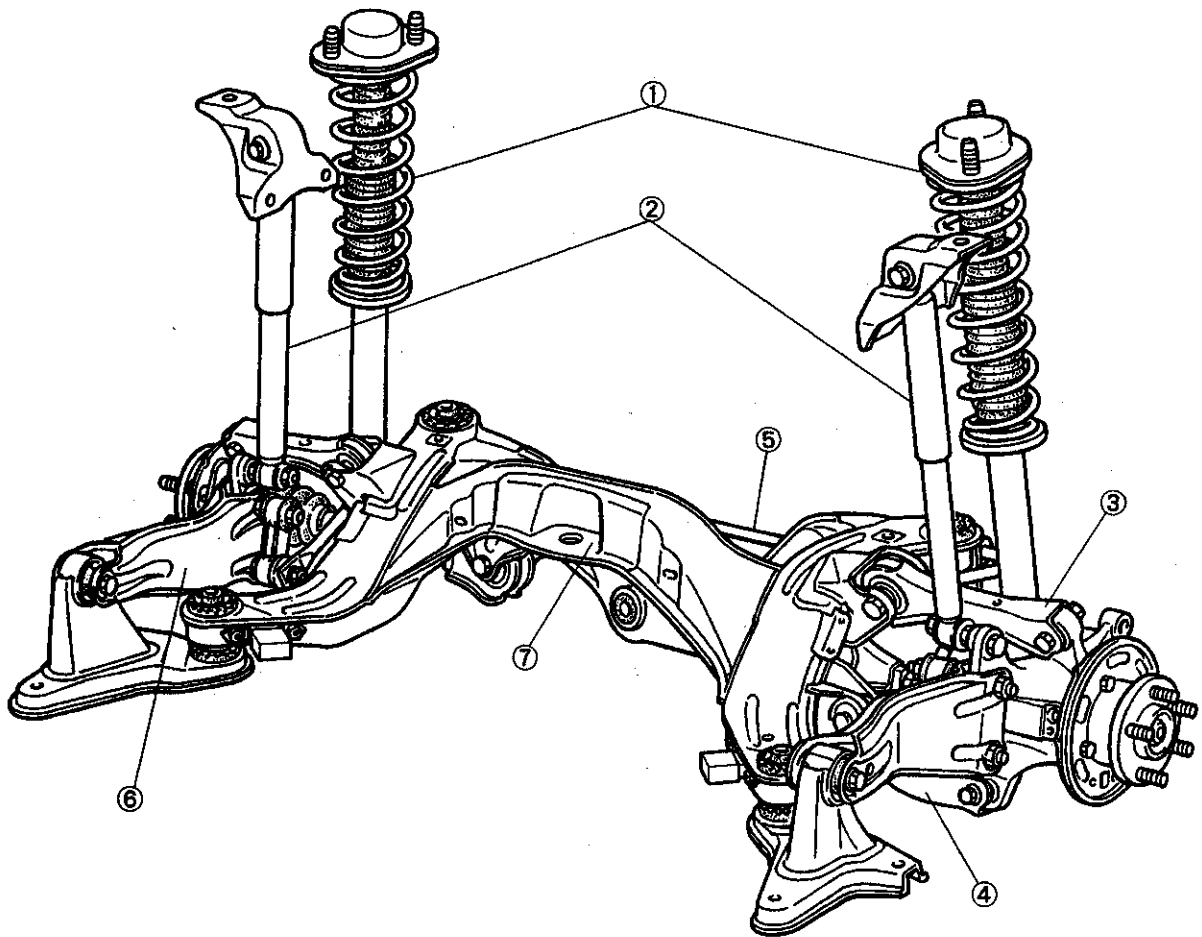
..... p. R-24

6. クロスメンバ

取外し/点検/取付け.....

..... p. R-25

リヤ・サスペンション



リヤ・ホイール・アライメント

キャンバ: $-0^{\circ}25' \pm 45'$

トータル・トーイン: $3 \pm 3 \text{ mm}$ ($0^{\circ}16' \pm 16'$)

サイド・スリップ: $-5 \text{ mm} \sim 5 \text{ mm}$

1. リヤ・ショック・アブソーバ
アンド スプリング
取外し/取付け..... p. R-28
分解/点検/組付け.....
..... p. R-29
2. サブ・ダンパ
取外し/取付け..... p. R-28
分解/点検/組付け.....
..... p. R-31

3. アッパ・リンク
取外し/点検/取付け.....
..... p. R-32
4. ロア・リンク
取外し/点検/取付け.....
..... p. R-32
5. リヤ・スタビライザ
取外し/点検/取付け.....
..... p. R-33

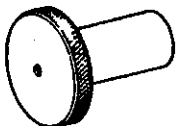
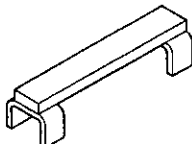
6. トレーリング・アーム
取外し/点検/取付け.....
..... p. R-35
7. サブフレーム
取外し/点検/取付け.....
..... p. R-36

トラブルシューティング・ガイド

不具合項目	考えられる原因	処置	ページ
車体のローリング	・スタビライザ・バー、スタビライザ・リンクのへたり	交換	R-20, 33
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
	・ショック・アブソーバの機能不良	交換	R-15, 29, 31
乗り心地の低下	・コイル・スプリングのへたり	交換	R-15, 29
	・ショック・アブソーバの機能不良	交換	R-15, 29, 31
車体の傾き	・コイル・スプリングのへたり	交換	R-15, 29
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
サスペンションからの異音	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの潤滑不良または摩耗周辺各取付け部ゆるみ	潤滑または交換 または締付け	R-18, 22
	・ショック・アブソーバの機能不良	交換	R-15, 29, 31
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
走行不安定	・コイル・スプリングのへたり	交換	R-15, 29
	・ショック・アブソーバの機能不良	交換	R-15, 29, 31
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
	・ホイール・アライメントの調整不良	調整	R-5
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-18, 22
	・ステアリング関連事項	—	セクションN
ハンドル操作が重い	・ホイール アンド タイヤ関連事項	—	セクションQ
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの潤滑不良または損傷	潤滑または交換	R-18, 22
	・ホイール・アライメントの調整不良	調整	R-5
	・ステアリング関連事項	—	セクションN
ハンドルがとられる	・ホイール アンド タイヤ関連事項	—	セクションQ
	・コイル・スプリングのへたり	交換	R-15, 29
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-18, 22
	・ホイール・アライメントの調整不良	調整	R-5
	・ステアリング関連事項	—	セクションN
“シミ”現象 (ハンドルが左右に振動する)	・ブレーキ関連事項	—	セクションP
	・ホイール アンド タイヤ関連事項	—	セクションQ
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-18, 22
	・ショック・アブソーバの機能不良	交換	R-15, 29, 31
	・ショック・アブソーバ取付けボルト/ナットの緩み	締付け	R-14, 28
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ブッシュのへたり	交換	R-18, 22
	・スタビライザ・ボール・ジョイントの損傷	交換	R-20, 33
ハンドルの戻り不良	・ホイール・アライメントの調整不良	調整	R-5
	・ホイール・ベアリングのガタ	交換	セクションM
	・ステアリング関連事項	—	セクションN
	・ホイール アンド タイヤ関連事項	—	セクションQ
	・アッパ・アーム、ロア・アーム・ボール・ジョイントの固着、損傷	交換	R-18, 22
	・ホイール・アライメントの調整不良	調整	R-5
	・ステアリング関連事項	—	セクションN
ハンドルの戻り不良	・ホイール アンド タイヤ関連事項	—	セクションQ

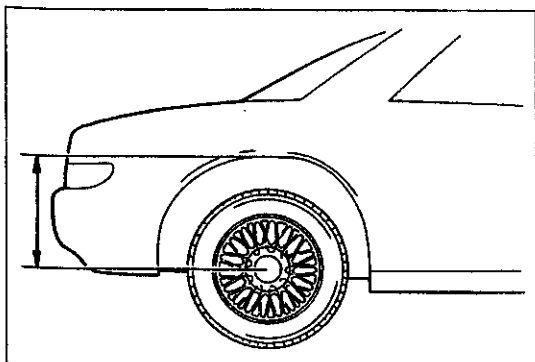
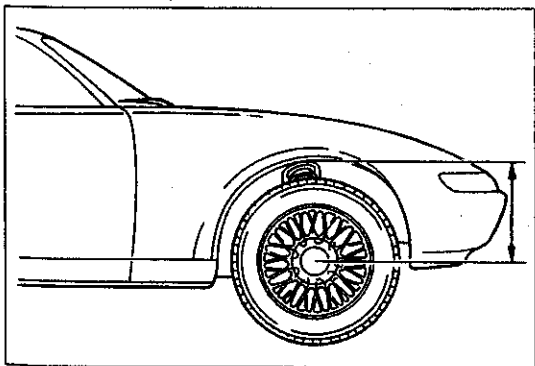
ホイール・アライメント

作業前の準備品 専用工具 (S S T)

49 L033 102 キャスト・キャンバ・ ゲージ・アダプタ 	キャスト・キャン バ・ゲージ 取付け用	49 J028 201 ロア・リンク・ ホルダ 	リヤ・トーイン 調整用
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

計測器

トースカンまたは ダイヤル・ゲージ	ディスク・ホイールの振れ点検用	タイヤ・ゲージ	空気圧点検用
トーイン・ゲージ	トーイン測定用	巻尺	車高測定用
ターニング・ラジア ス・ゲージ	ハンドル切れ角測定用	キャスト・キャンバ ・ゲージ	キャスト及びキャンバ測定用



作業前の点検

1. タイヤの空気圧を点検し、必要ならば指定空気圧に調整する。
2. ホイール・ベアリングの遊びを点検し、必要ならば修正する。
3. ホイール及びタイヤの振れを点検する。
4. ステアリング・ボール・ジョイント及びサスペンション・ボール・ジョイントにガタが無いことを点検する。
5. ショック・アブソーバが正しく作動しているかボデーをゆすって点検する。
6. 左右の車高差（フェンダ端面からホイール中心までの寸法）が10mm以内、前後差（リヤ＜フロント）が30±10mmであることを点検する。
7. 車両を空車状態で水平な場所に置き、ホイールを直進状態にする。

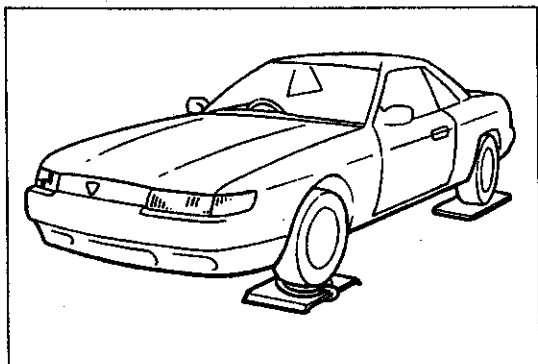
フロント・ホイール・アライメント

仕様（空車状態）

項 目		仕 様	
トータル・トーイン	(mm)	4 ± 3	
	度	$0^{\circ}22' \pm 16'$	
切れ角	(度)	内側	$37^{\circ} \pm 2^{\circ}$
		外側	$33^{\circ} \pm 2^{\circ}$
キングピン角		(度)	$13^{\circ}10'$
キャンバ角 (度)	フェンダ端面から ホイール中心までの寸法 (mm)	367~376	$-0^{\circ}27' \pm 45'$
		377~386	$0^{\circ}11' \pm 45'$
		387~396	$0^{\circ}01' \pm 45'$
		397~406	$0^{\circ}12' \pm 45'$
		407~416	$0^{\circ}20' \pm 45'$
キャスト角 (度)	フェンダ端面から ホイール中心までの寸法 (mm)	367~376	$9^{\circ}31' \pm 45'$
		377~386	$9^{\circ}16' \pm 45'$
		387~396	$9^{\circ}02' \pm 45'$
		397~406	$8^{\circ}49' \pm 45'$
		407~416	$8^{\circ}35' \pm 45'$

注意

- ・空車状態……燃料満、冷却水及びエンジン・オイル満、スペア・タイヤ、ジャッキ及び車載工具搭載状態
- ・キャンバの左右差は 1° 以内
- ・キャストの左右差は $1^{\circ}30'$ 以内



切れ角

点検

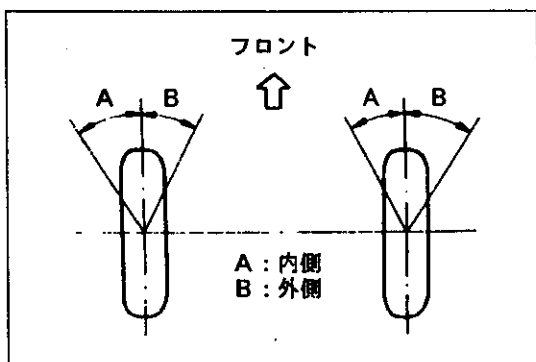
1. ターニング・ラジাস・ゲージを 0° 点にロックする。
2. ターニング・ラジাস・ゲージの中心にタイヤの接地面中心がくるように、前輪を静かにターニング・ラジাস・ゲージにのせ、ロックを解除する。

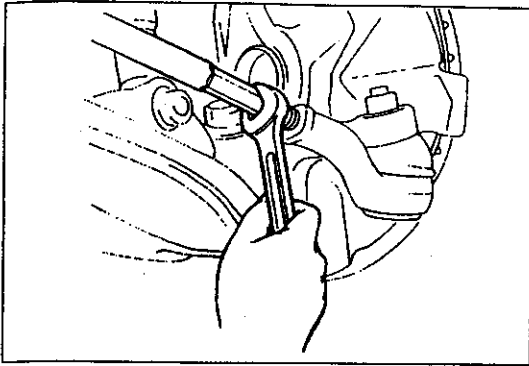
参考

- ・ポータブル・タイプのターニング・ラジাস・ゲージを使用する場合は、車両を水平に保持するために、後輪にターニング・ラジাস・ゲージと同じ厚さの台を置く。
- ・車両が動かないようにブレーキ・プレッシャ・ツール等を使用して、フット・ブレーキを効かしておく。ただし、ストップ・ランプ・フューズを取外す。

3. 切れ角を点検する。

標準値 内側 $37^{\circ} \pm 2^{\circ}$
外側 $33^{\circ} \pm 2^{\circ}$





調整

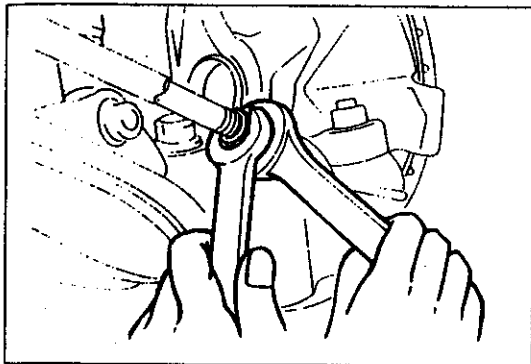
1. タイロッド・エンドのロックナットをゆるめる。
2. ラック・ブーツ・クリップを取外す。
3. タイロッドを回して、タイロッドのねじ部の寸法を左右同じにする。

左右差 3 mm以下

4. タイロッドを回して、調整する。

標準値 内側 $37^{\circ} \pm 2^{\circ}$

外側 $33^{\circ} \pm 2^{\circ}$



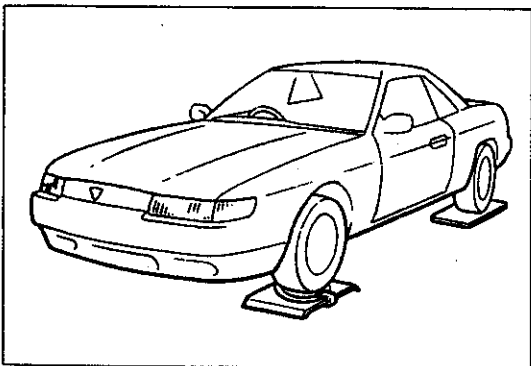
注意

- ・タイロッドの移動量は左右同一にする。

5. タイロッド・エンドのロックナットを締付ける。

締付けトルク 7.0~8.0kgm

6. ラック・ブーツのねじれを修正し、ラック・ブーツ・クリップを取付け固定する。
7. 切れ角調整後は、必ずト一点検、調整を行う。



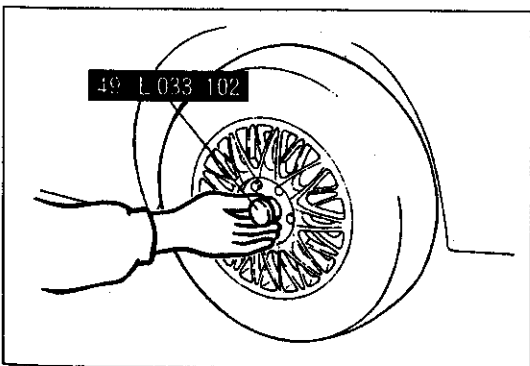
キャスト／キャンバ

点検

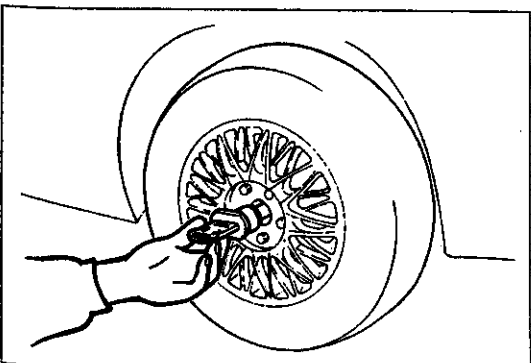
1. 前輪をターニング・アジャス・ゲージにのせる。

注意

- ・車両を水平に保持し、車両が動かないようにブレーキ・ブレーシャ・ツール等を使用して、フット・ブレーキを効かせておく。但し、ストップ・ランプ・フューズを取外す。



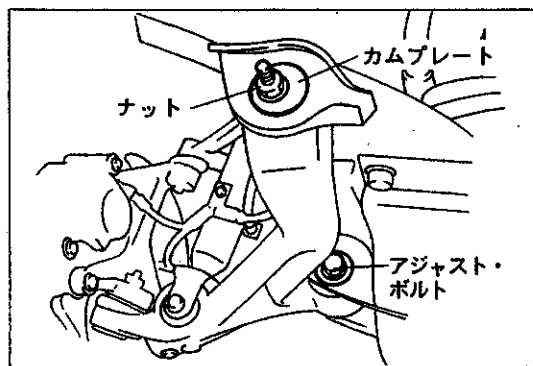
2. ホイール・ハブ・キャップを取外す。
3. ホイール・ハブ・ロックナットを外し、SSTを手で締めて取付ける。



4. SSTにキャスト・キャンバ・ゲージを取付け、キャスト及びキャンバを測定する。
5. ホイール・ハブ・ロックナットを規定トルクで締付け、かしめる。

締付けトルク 18.0~24.0kgm

6. ホイール・ハブ・キャップを取付ける。

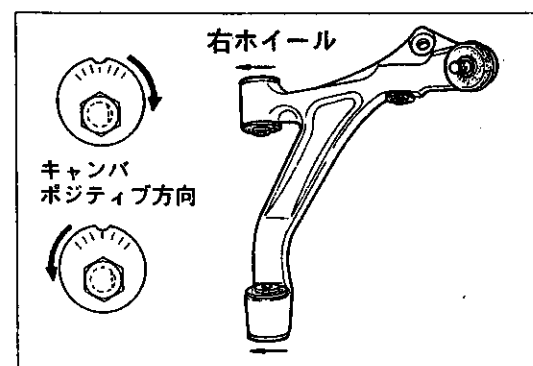
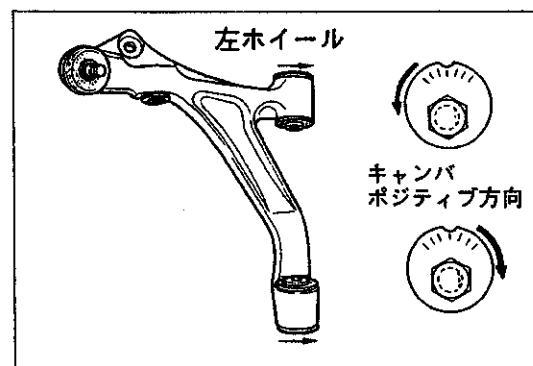
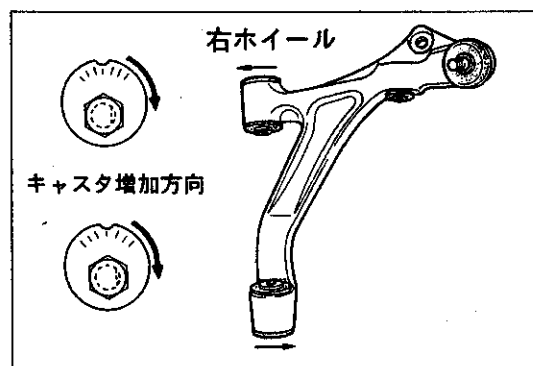
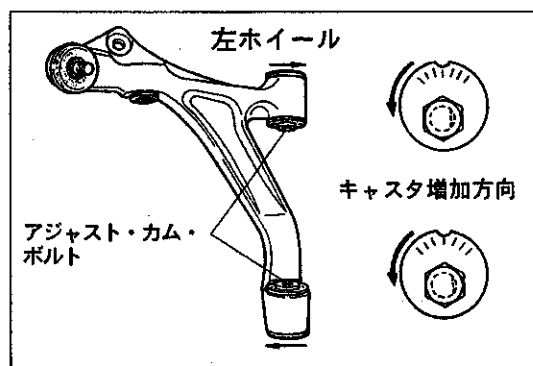


調整

キャスト

注意

- ・キャスト調整はキャンバ調整の前に行なう。
- ・キャスト調整はフロント、リヤのどちらか1方、あるいは両方のカムで調整できるが、後のキャンバ調整代を残せるように調整する。



1. ロア・アームのフロント、リヤのカム・ナットをゆるめる。
2. フロント、リヤのどちらか1方、あるいは両方のアジャスト・カム・ボルトを回して調整する。調整方向は下表を参照する。

標準値 参照：p. R-6

キャスト	左ホイール		右ホイール	
	フロント・カム	リヤ・カム	フロント・カム	リヤ・カム
増加方向	反時計方向	反時計方向	時計方向	時計方向
減少方向	時計方向	時計方向	反時計方向	反時計方向

参考

- ・キャスト変化量 フロント・カム 約13'／1目盛
リヤ・カム 約27'／1目盛

注意

- ・キャスト調整時にキャンバも変化するので、キャスト調整後、キャンバを測定、調整する。

3. キャンバ、トーインを調整する。

キャンバ

注意

- ・キャンバ調整はキャスト調整後に行なう。

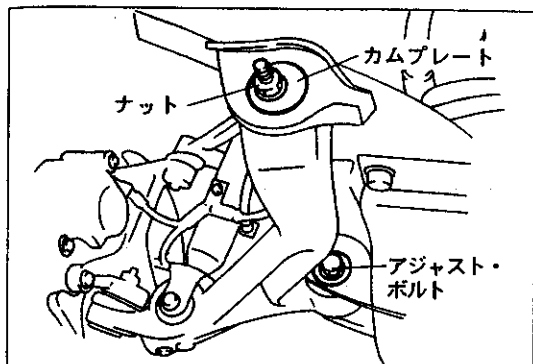
1. ロア・アームのフロント、リヤのアジャスト・カム・ボルトを各々反対方向にフロント1に対してリヤ約0.45の割合で回してキャンバを調整する。調整方向は下表を参照する。

標準値 参照：p. R-6

キャンバ	左ホイール		右ホイール	
	フロント・カム	リヤ・カム	フロント・カム	リヤ・カム
ポジティブ方向	反時計方向	時計方向	時計方向	反時計方向
ネガティブ方向	時計方向	反時計方向	反時計方向	時計方向

参考

- ・キャンバ変化量 フロント・カム 約14'／1目盛
リヤ・カム 約4'／1目盛



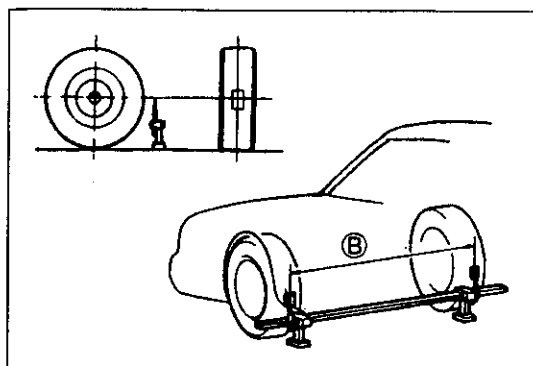
注意

・もしキャンバの調整代が足りない時は、もう1方のカムで再度キャスタ調整から行なう。

2. ナットを締付ける。

締付けトルク 15~17kgm

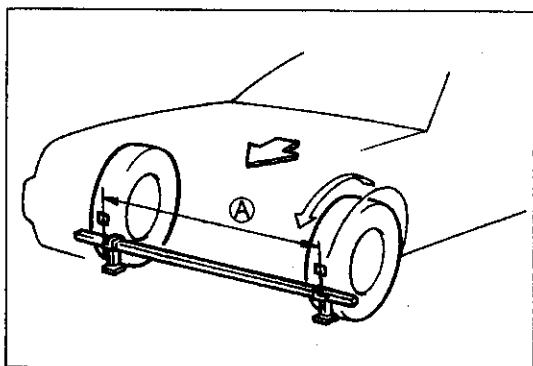
3. トーインを調整する。



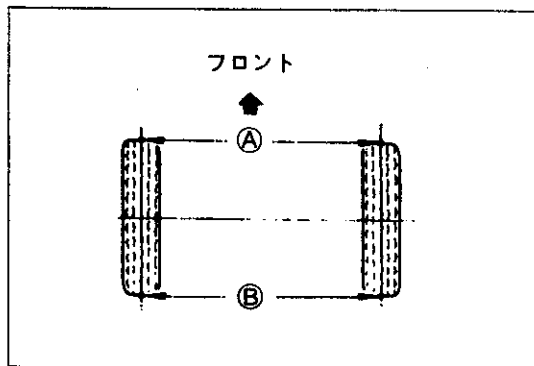
トータル・トーイン

点検

1. 車両をゆすり、車高を安定させる。
2. トーイン・ゲージの指針高さをフロント・ホイール軸中心高さに合わせ、タイヤ後側に入れる。
3. 前輪タイヤ各々の後部のトレッド中心にマークをし、マーク間の距離(⑧寸法)を測定する。
4. 車両を押して前進させ、前輪を180°回転させる。

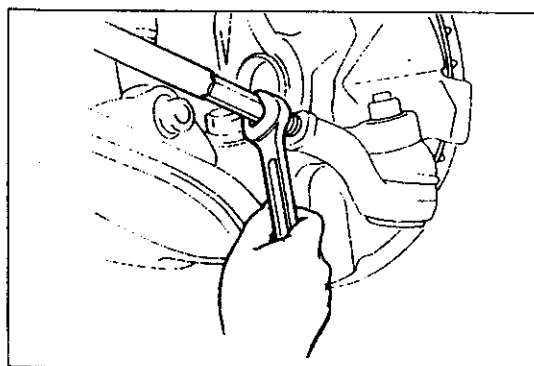


5. 車両前部でマーク間の距離(⑨寸法)を測定する。



6. ⑧寸法-⑨寸法を求め、標準値外なら調整する。

標準値 4 ± 3 mm



調整

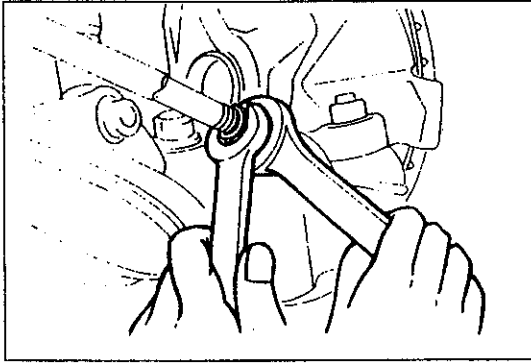
1. タイロッド・エンドのロックナットをゆるめる。
2. ラック・ブーツ・クリップを取外す。
3. 左右のタイロッドを各々反対方向に同量ずつ回して調整する

参考

・トー変化量 0°39' / タイロッド1回転
約7 mm / タイロッド1回転

注意

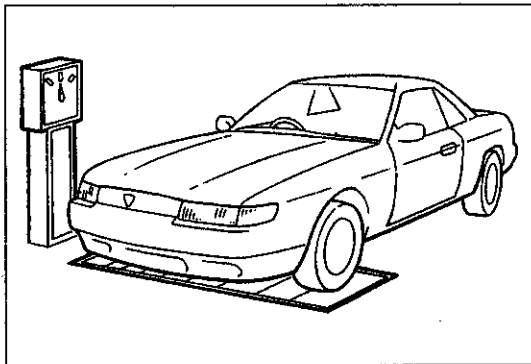
・左右のタイロッドは左ねじを使用しているので、トーをイン側に増すには右のインナ・ボール・ジョイントを車両の前進方向に、左のインナ・ボール・ジョイントを車両の後退方向に同じ量だけ回す。



4. タイロッドのロックナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク 7.0~8.0kgm

5. ラック・ブーツにねじれがないか確認し、ラック・ブーツ・クリップを取付ける。



サイド・スリップ

点検

1. サイド・スリップ・テストに車両を静かにまっすぐ入れ、通過した時のサイド・スリップ量を点検し、標準値外の場合はフロント・ホイール・アライメントが正しいか点検する。

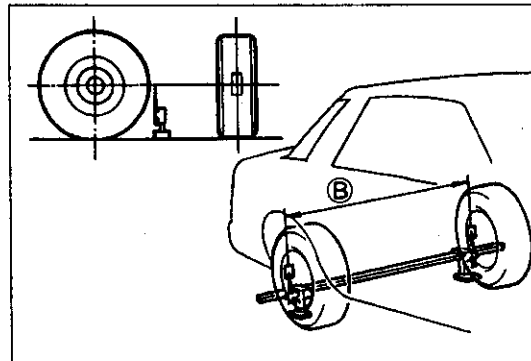
標準値 アウト5mm~イン5mm

リヤ・ホイール・アライメント

仕様（空車状態）

項 目		仕 様	
トータル・トーイン		(mm)	3 ± 3
		度	0°16' ± 16'
キャンバ角 (度)	フェンダ端面からホイール中心までの寸法 (mm)	336~345	-1°02' ± 45'
		346~355	-0°46' ± 45'
		356~365	-0°30' ± 45'
		366~375	-0°14' ± 45'
		376~385	0°01' ± 45'

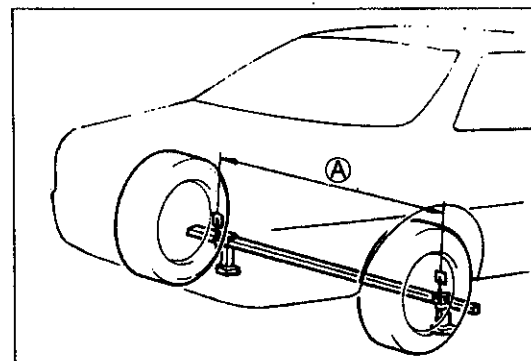
空車状態……燃料満、冷却水及びエンジン・オイル満、スペア・タイヤ、ジャッキ及び車載工具搭載状態。



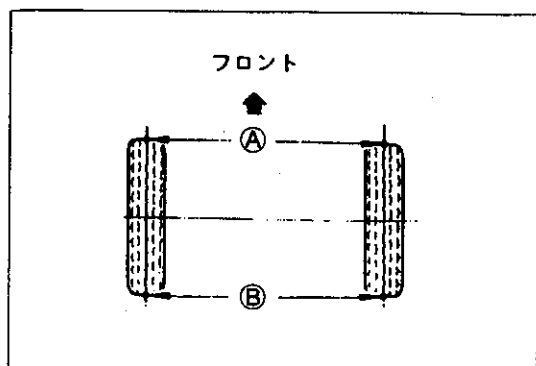
トータル・トーイン

点検

1. 車両をゆすり、車高を安定させる。
2. トーイン・ゲージの指針高さをリヤ・ホイール軸中心高さに合わせ、タイヤの後側に入れる。
3. 後輪タイヤ各々の後部のトレッド中心にマークし、マーク間の距離（㊸寸法）を測定する。
4. 車両を押して前進させ、前輪を180°回転させる。

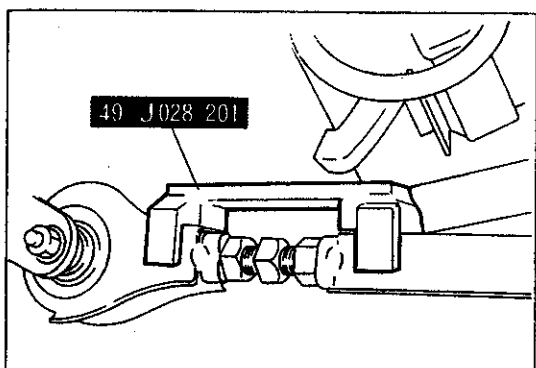


5. 車両前部でマーク間の距離（㊸寸法）を測定する。



6. ②寸法-①寸法を求め、標準値外なら調整する。

標準値 $3 \pm 3 \text{ mm}$

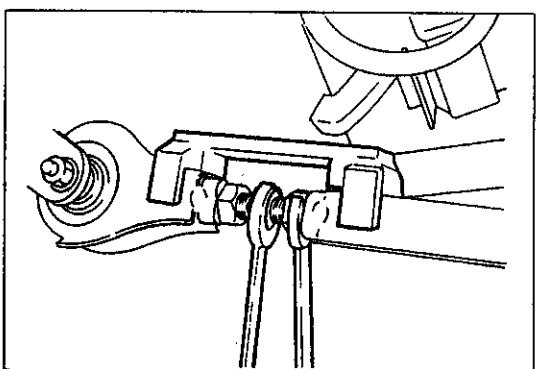


調整

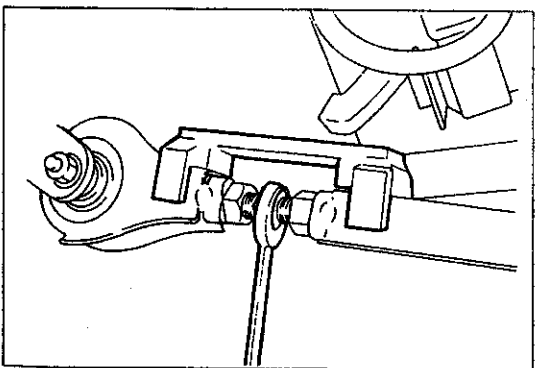
1. 図示のようにSSTをロア・リンク・リヤにセットする。

注意

- ・SSTを使用しないで調整を行うと、ロア・リンク・リヤのピロー・ボールにガタが生ずる可能性があります。



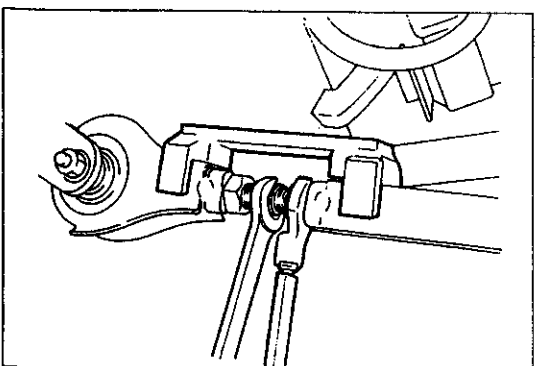
2. ロックナットを緩める。



3. 調整リンクを回して、トーインを調整する。

参考

- ・トー変化量 $0^\circ 51' / \text{調整リンク 1 回転}$
約9.5mm/調整リンク1回転

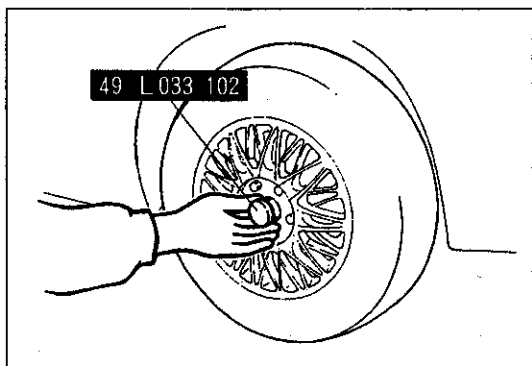


4. ロックナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク $11.8 \sim 16 \text{ kgm}$

注意

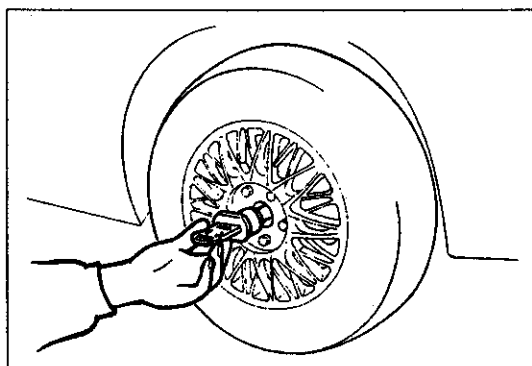
- ・トーイン調整時にキャンバも変化するので、トーイン調整後キャンバを測定する。ただし調整はできません。



キャンバ

点検

1. 車両をゆすり、車高を安定させる。
2. ホイール・ハブ・ロックナットを外し、SSTを手で締めて取付ける。



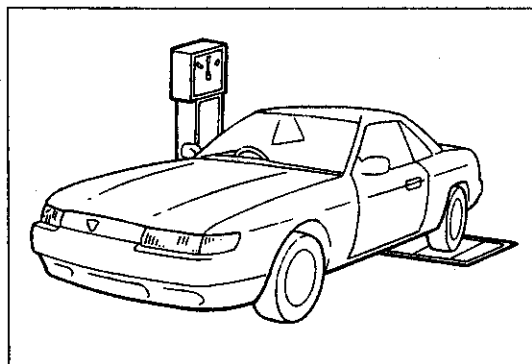
3. SSTにキャスト・キャンバ・ゲージを取付け、キャンバを測定する。

注意

・キャンバの調整はできません。

4. ホイール・ハブ・ロックナットを規定トルクで締付け、かしめる。

締付けトルク 24.0～32.0kgm



サイド・スリップ

点検

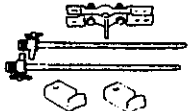

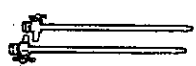

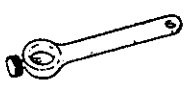
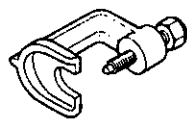

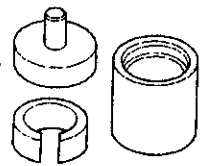
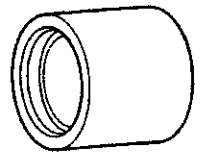

1. サイド・スリップ・テストに車両を静かにまっすぐ入れ、通過した時のサイド・スリップ量を点検し、標準値外の場合は、リヤ・ホイール・アライメントが正しいか点検する。

標準値 アウト5mm～イン5mm

フロント・サスペンション (ダブル・ウィッシュボーン)

作業前の準備品

専用工具 (SST)

49 G034 1A0 コイル・スプリング コンプレッサ 	コイル・スプリング 分解、組付け用	49 G034 101 ボデー (49 G034 1A0の 構成品) 	コイル・スプリング 分解、組付け用
49 G034 102 スクリュ (49 G034 1A0の 構成品) 	コイル・スプリング 分解、組付け用	49 G034 103 アーム (49 G034 1A0の 構成品) 	コイル・スプリング 分解、組付け用
49 0180 510B プリロード・ アタッチメント 	ボール・ジョイント 回転トルク測定用	49 0727 575 ボール・ジョイント・ プーラ 	ロア・アーム、 アッパ・アーム・ ボール・ジョイント 取外し用
49 J034 301 プロテクタ 	フロント・スタビ ライザ・コント ロール・リンク・ ダスト・ブーツ 取付け用	49 J028 1A0 ダスト・ブーツ・イン ストーラ・セット 	フロント・スタビ ライザ・コント ロール・リンク・ ダスト・ブーツ 取付け用
49 J028 101 ダスト・ブーツ・ インストーラ (49 J028 1A0の 構成品) 	フロント・スタビ ライザ・コント ロール・リンク・ ダスト・ブーツ 取付け用	49 G017 5A0 エンジン・サポート 	エンジンつり下げ 用

計測器

バネ秤	ボール・ジョイント回転トルク測定用
-----	-------------------

油脂類、その他

汎用グリース	各部塗布用
--------	-------

R フロント・サスペンション (ダブル・ウィッシュボーン)

フロント・ショック・アブソーバ アンド スプリング

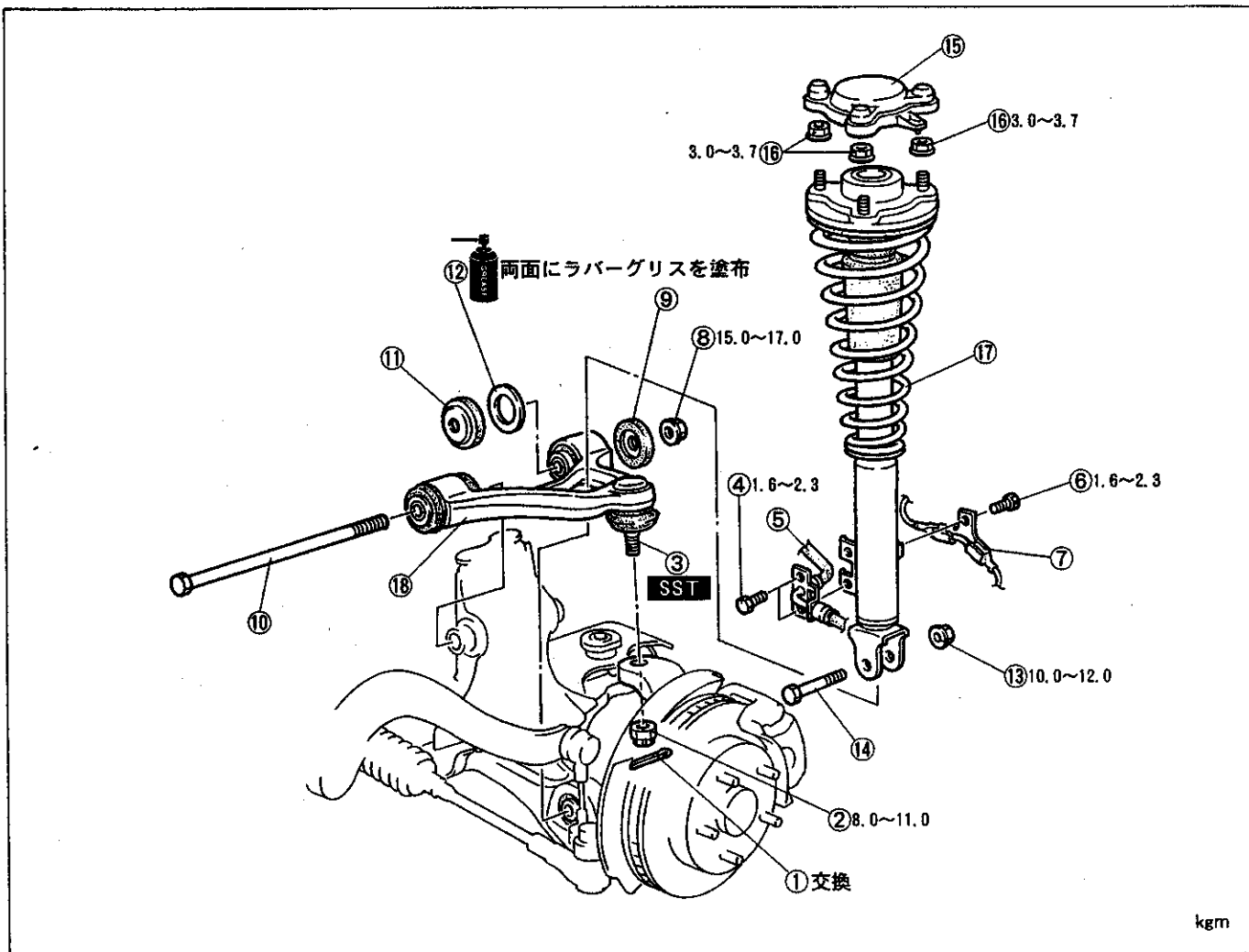
取外し/取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両前部をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。

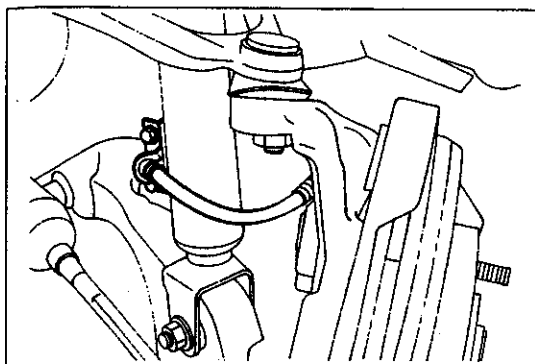
注意

- ・ショック・アブソーバ下側の取付けボルト、ナットは、車両をジャッキ・ダウンした後、空車荷重をかけて締付ける。

6. フロント・ホイール・アライメントを点検する。(参照: p. R-6)



- | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------|
| 1. スプリット・ピン | 7. ホイール・スピード・センサ・ハーネス | 14. ボルト |
| 2. ナット | 8. ナット | 15. キャップ |
| 3. アップ・アーム・ボール・ジョイント | 9. ストップ | 16. ナット |
| 取外し時の留意点...p. R-19 | 10. ボルト | 17. ショック・アブソーバASSY |
| 4. ボルト | 11. ストップ | 分解/点検/組付け..... |
| 5. ブレーキ・フレキシブル・ホース | 12. スラスト・ワッシャ |p. R-15 |
| 6. ボルト | 13. ナット | 取付け時の留意点...p. R-15 |
| | | 18. アップ・アーム |



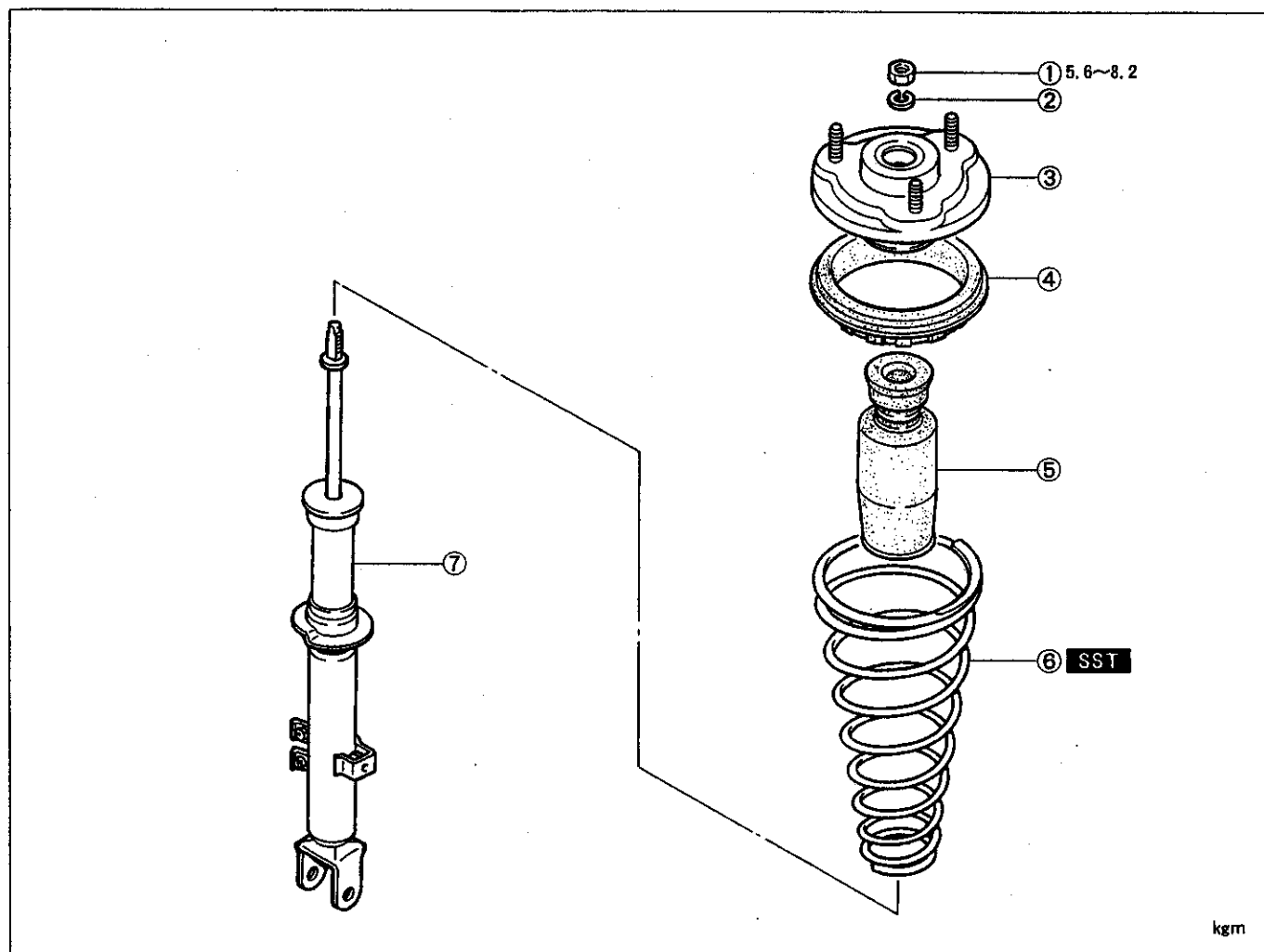
取付け時の留意点

ショック・アブソーバASSY

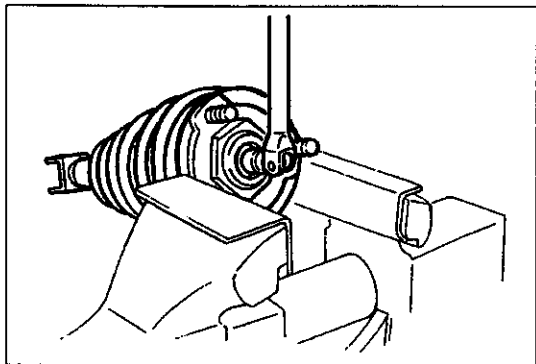
1. ショック・アブソーバASSYのフレキシブル・ホース・ブラケットが車両内側を向くように、ショック・アブソーバASSYを取付ける。

分解／点検／組付け

1. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
3. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で組付ける。



- | | | |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1. ナット
分解時の留意点……p. R-16
組付け時の留意点…p. R-17 | 3. マウンティング・ラバー
損傷、劣化がないか点検する
組付け時の留意点…p. R-17 | 6. コイル・スプリング
損傷、劣化がないか点検する
組付け時の留意点…p. R-16 |
| 2. ワッシャ | 4. ラバー・シート
損傷、き裂がないか点検する | 7. ショック・アブソーバ
点検……………p. R-16 |
| | 5. バンプ・ストッパ
損傷、き裂がないか点検する | |



分解時の留意点

ナット

1. ショック・アブソーバ ASSY をバイスで固定する。

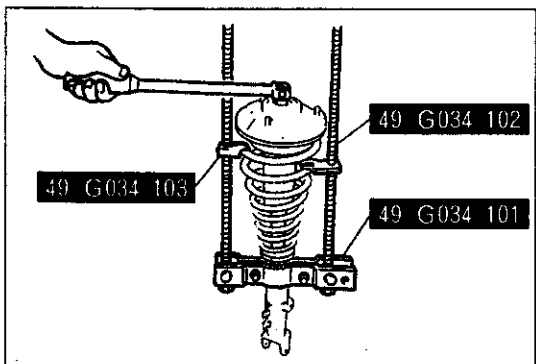
注意

- ・銅板かウエス等を介してバイスで固定する。

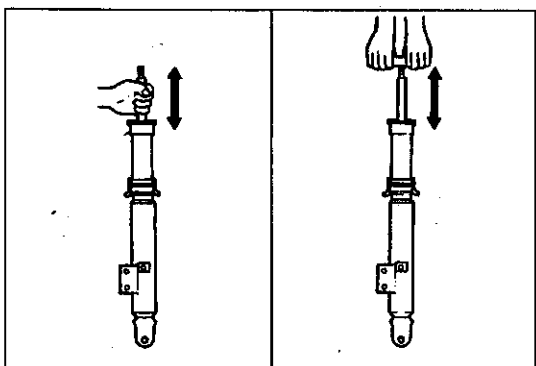
2. ナットを数回転緩める。

注意

- ・ナットを取外してはならない。



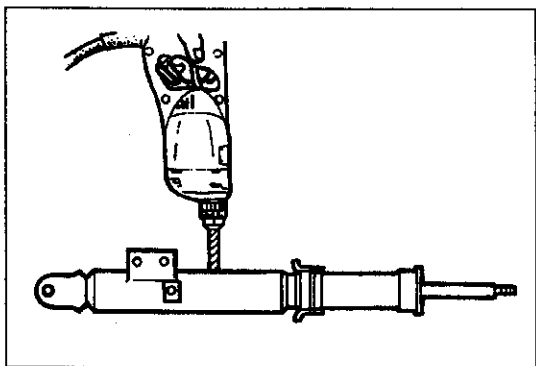
3. SST を使用してコイル・スプリングを圧縮してからナットを取外す。



点検

ショック・アブソーバ

1. 損傷、油漏れがないか点検する。
2. ショック・アブソーバのピストン・ロッドを一定の速さで3回以上伸縮し、4回目以降で全ストロークの重さが一定であり、異常な手ごたえおよび異音がないことを点検する。



警告

- ・ショック・アブソーバを廃却する際、図示のようにドリルで穴をあけ、ガスを抜く。
- ・抜け出すガスは、無色、無臭、無害であるが、ドリルの切り粉などが飛び出すので気をつける。
- ・ガスが完全に抜けたことを確認して廃却する。

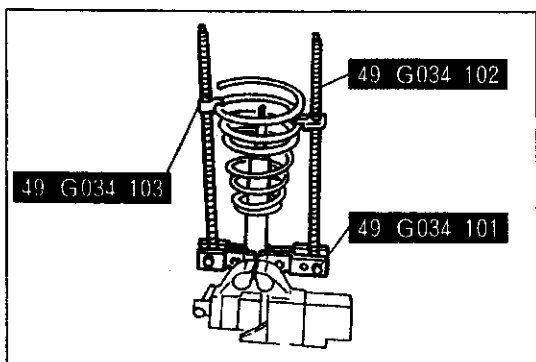
組付け時の留意点

コイル・スプリング

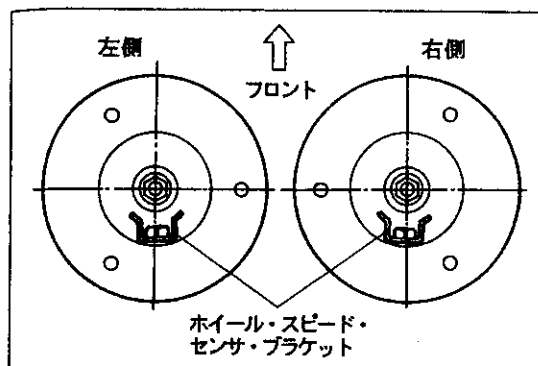
1. ショック・アブソーバをバイスで固定する。

注意

- ・銅板かウエス等を介してバイスで固定する。

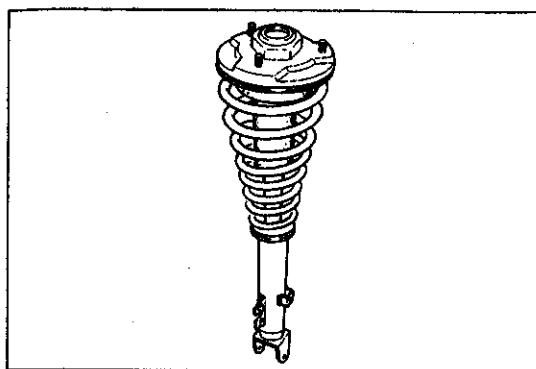


2. SST を使用して、コイル・スプリングを圧縮する。
3. コイル・スプリングのロア・エンド部がショック・アブソーバのスプリング・ロア・シートの段付き部に合うように、コイル・スプリングを組付ける。



マウンティング・ラバー

1. 図で示す位相になるように、ショック・アブソーバにマウンティング・ラバーを組付ける。

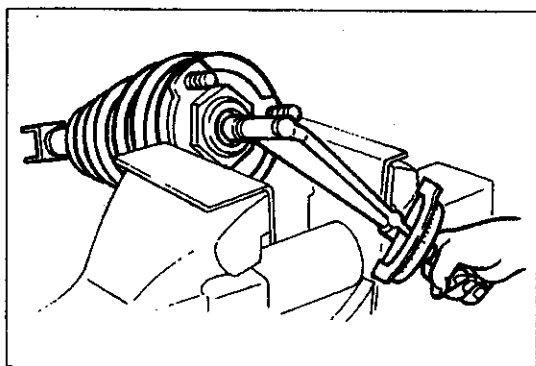


ナット

1. ショック・アブソーバにワッシャを組付け、ナットを仮締めする。
2. SST (49 G034 1A0) を取外し、コイル・スプリングの圧縮を解除する。

注意

- ・コイル・スプリングが、ラバー・シートおよびスプリング・ロア・シート段付き部に確実に組付けられているか確認する。



3. ショック・アブソーバの上部をバイスで固定する。

注意

- ・銅板かウエス等を介してバイスで固定する。

4. ナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク 5.6~8.2kgm

アップ・アーム

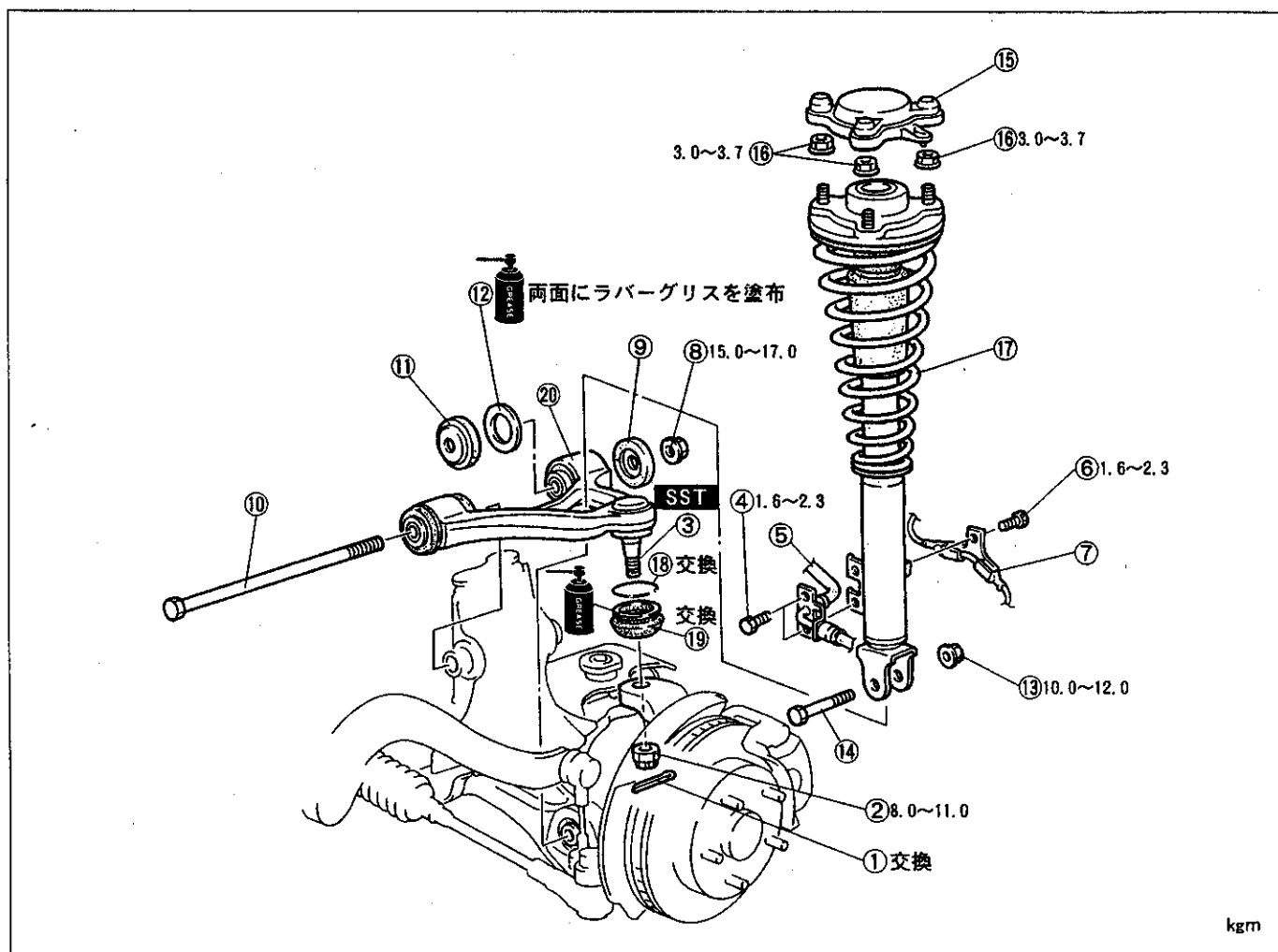
取外し/点検/取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両前部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
6. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。

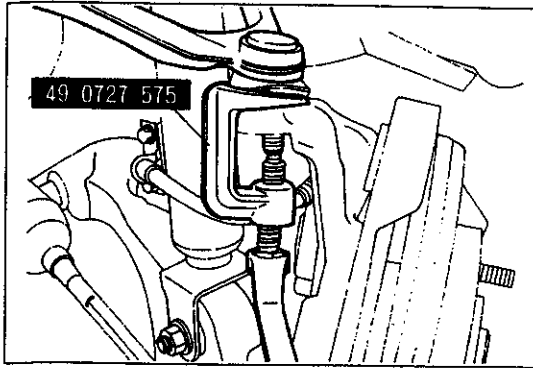
注意

- ・ショック・アブソーバ下部の取付けボルト、ナットは、車両をジャッキ・ダウンした後、空車荷重をかけて締付ける。

7. フロント・ホイール・アライメントを点検する。(参照: p. R-6)



- | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------|
| 1. スプリット・ピン | 7. ホイール・スピード・センサ・ハーネス | 15. キャップ |
| 2. ナット | 8. ナット | 16. ナット |
| 3. アップ・アーム・ボール・ジョイント | 9. ストップ | 17. ショック・アブソーバASSY |
| 取外し時の留意点…p. R-19 | 10. ボルト | 取付け時の留意点…p. R-15 |
| 点検……………p. R-19 | 11. ストップ | 18. クリップ |
| 4. ボルト | 12. スラスト・ワッシャ | 取付け時の留意点…p. R-19 |
| 5. ブレーキ・フレキシブル・ホース | 13. ナット | 19. ダスト・ブーツ |
| 6. ボルト | 14. ボルト | 取付け時の留意点…p. R-19 |
| | | 20. アップ・アーム |
| | | 損傷、き裂がないか点検する |



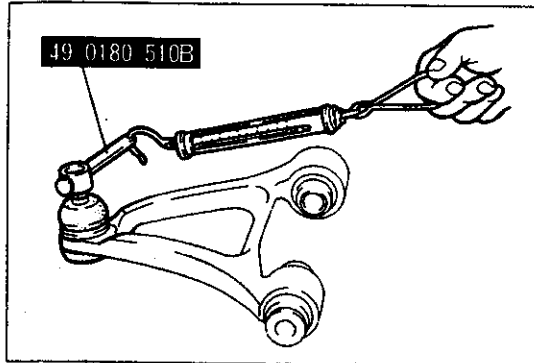
取外し時の留意点

アップ・アーム・ボール・ジョイント

1. SSTを使用して、アップ・アーム・ボール・ジョイントをナックルから取外す。

注意

- ・ブーツを損傷させない。
- ・ねじ山が損傷しないように、不要のナットを取付けておく。



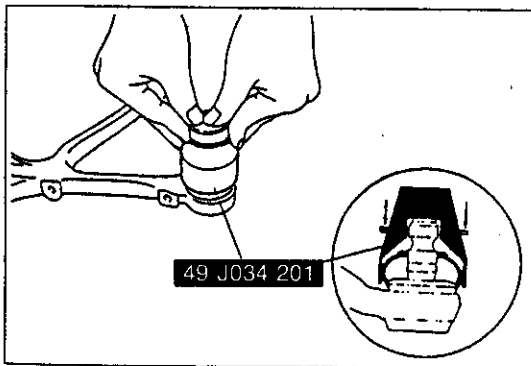
点検

アップ・アーム・ボール・ジョイント

1. ボール・スタッドを5回転させ、5回ゆする。
2. SSTをボール・スタッドに取付け、バネ秤で起動トルク、回転トルクを測定する。

起動トルク 20～60kgcm (バネ秤の読み 2～6kg)

回転トルク 4～12kgcm (バネ秤の読み 0.4～1.2kg)



取付け時の留意点

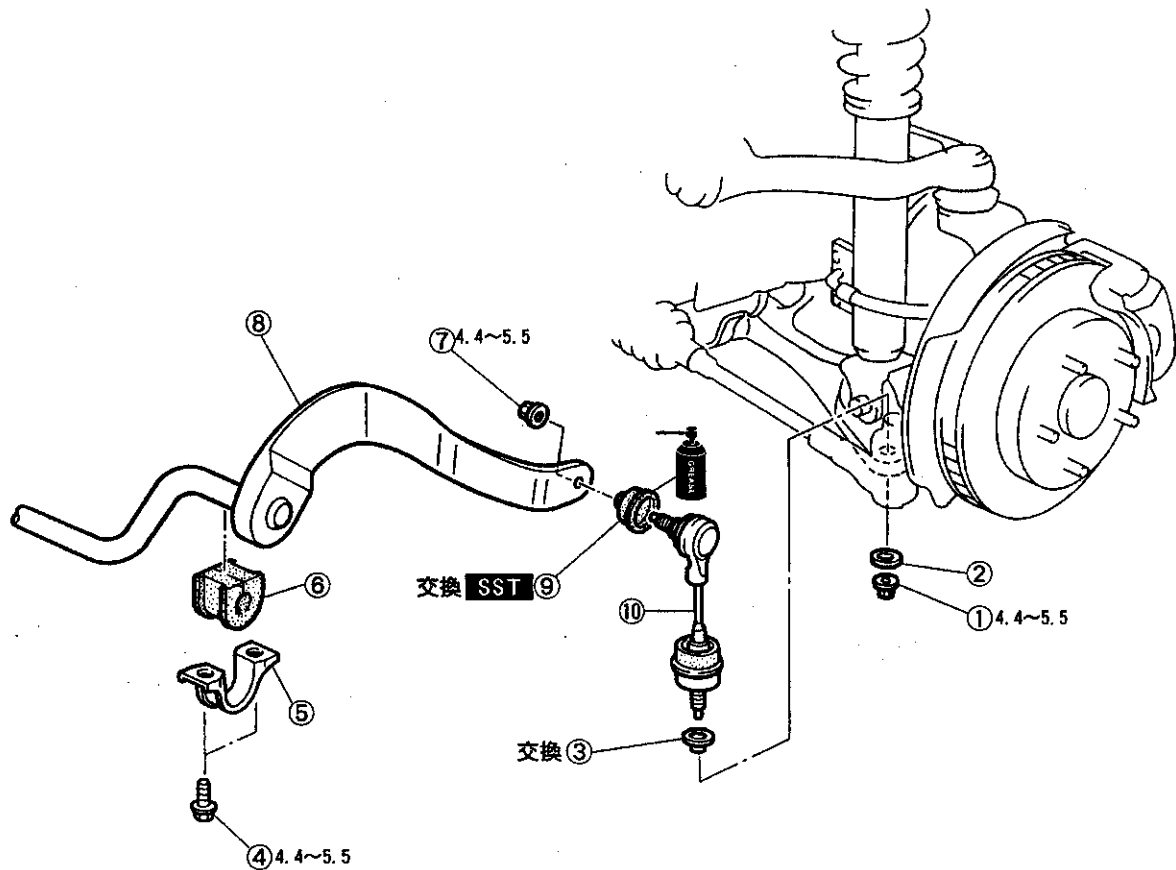
ダスト・ブーツ、クリップ

1. ボール・スタッドの古いグリースを拭き取る。
2. 新品のダスト・ブーツ内にグリースを封入する。
3. ダスト・ブーツをボール・ジョイントに取付ける。
4. SSTを使用して、新品のクリップを取付ける。
5. はみ出たグリースを拭き取る。

フロント・スタビライザ

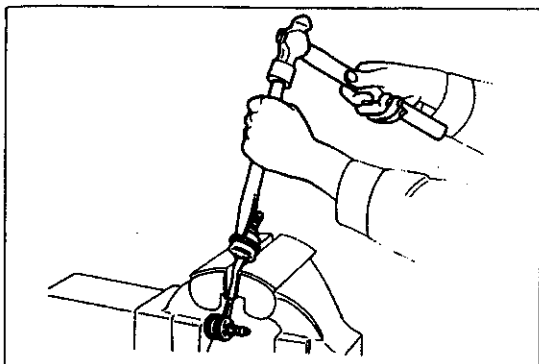
取外し／点検／取付け

1. 車両前部をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。
2. アンダ・カバーを取外す。
3. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
4. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
5. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。



kgm

- | | | |
|----------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1. ナット | 6. スタビライザ・ブッシュ
へたり、摩耗がないか点検する | 9. ダスト・ブーツ
取外し時の留意点… p. R-21
取付け時の留意点… p. R-21 |
| 2. ワッシャ | 7. ナット | 10. スタビライザ・コントロール・リンク
点検…………… p. R-21 |
| 3. スペーサ | 8. スタビライザ・バー
曲り、損傷がないか点検する | |
| 4. ボルト | | |
| 5. スタビライザ・プレート | | |



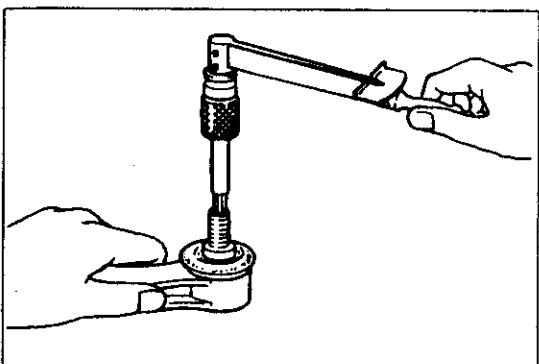
取外し時の留意点

ダスト・ブーツ

注意

- ・スタビライザ・コントロール・リンクのダスト・ブーツ取付け部に、傷を付けないように行う。

1. タガネとハンマを使用して、ダスト・ブーツを取外す。

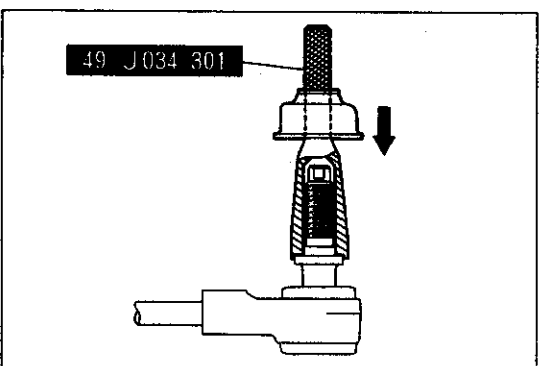


点検

スタビライザ・コントロール・リンク

1. 曲り、損傷がないか点検する。
2. ボール・スタッドを5回転させ、5回ゆする。
3. 六角レンチとトルク・レンチを使用して、回転トルクを測定する。

回転トルク 2～8 kgcm



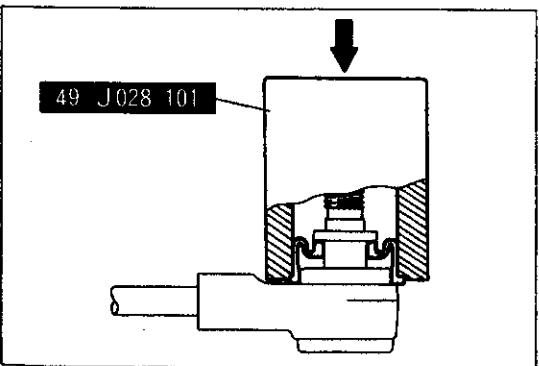
取付け時の留意点

ダスト・ブーツ

1. SSTを図示のようにスタビライザ・コントロール・リンクに取付ける。
2. 新品のダスト・ブーツ内に純正汎用グリースを封入する。
3. SSTの上を通して、ダスト・ブーツをスタビライザ・コントロール・リンクに取付ける。

注意

- ・SSTを使用しないでダスト・ブーツを取付けると、ボール・スタッドのねじ山等でダスト・ブーツに傷が付きます。



4. SSTを使用して、ダスト・ブーツをプレスで圧入する。

ロア・アーム

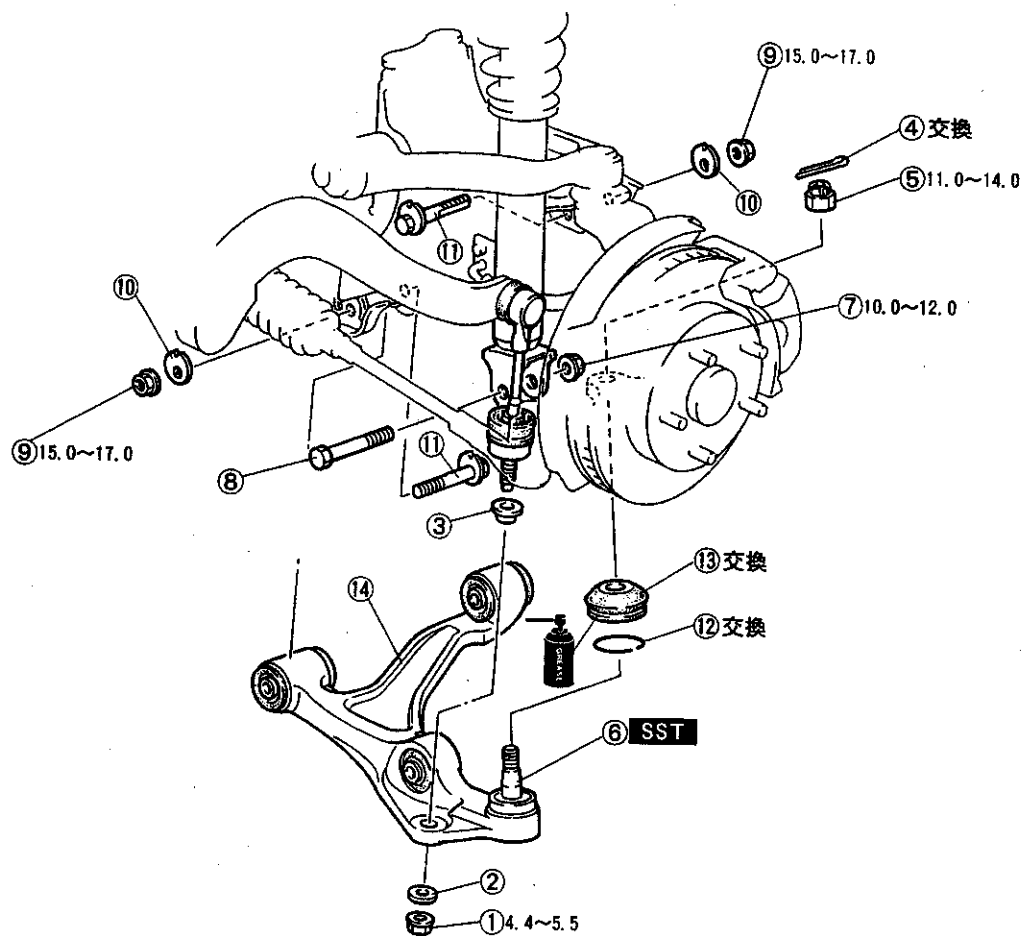
取外し／点検／取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両前部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
6. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。

注意

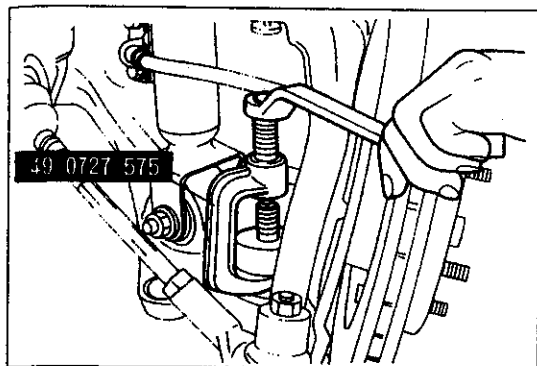
・ショック・アブソーバ下側およびロア・アーム取付けボルト、ナットは、車両をジャッキ・ダウンし、空車荷重をかけて締付ける。

7. フロント・ホイール・アライメントを調整する。(参照: p. R-6)



kgm

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ・ ナット | 8. ボルト |
| ・ ワッシャ | 9. ナット |
| ・ スペーサ | 10. カム・プレート |
| ・ スプリット・ピン | 11. アジャスト・ボルト |
| ・ ナット | 12. クリップ |
| ・ ロア・アーム・ボール・ジョイント | 取付け時の留意点… p. R-23 |
| 取外し時の留意点…………… p. R-23 | 13. ダスト・ブーツ |
| 点検…………… p. R-23 | 取付け時の留意点… p. R-23 |
| ・ ナット | 14. ロア・アーム |
| | 損傷、き裂がないか点検する |



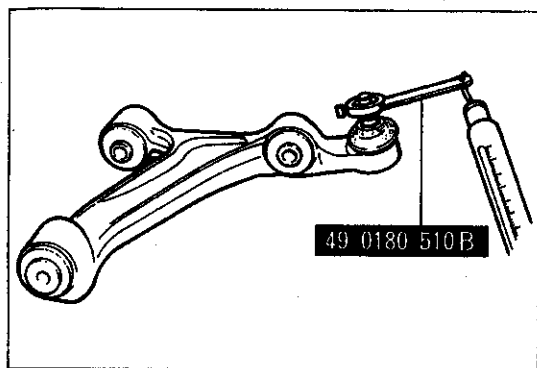
取外し時の留意点

ロア・アーム・ボール・ジョイント

1. SSTを使用して、ロア・アーム・ジョイントをナックルから取外す。

注意

- ・ブーツを損傷させない。
- ・ねじ山が損傷しないように、不要のナットを取付けておく。



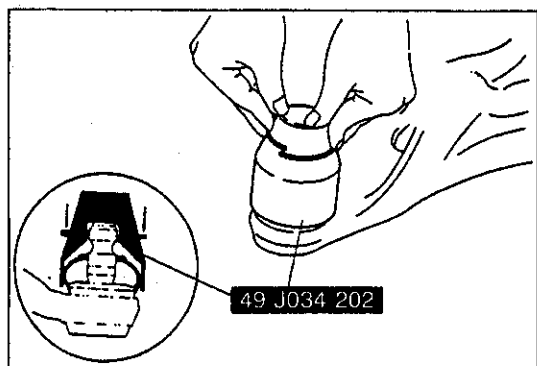
点検

ロア・アーム・ボール・ジョイント

1. ボール・スタッドを5回転させ、5回ゆする。
2. SSTをボール・スタッドに取付け、バネ秤で起動トルク、回転トルクを測定する。

起動トルク 25～75kgcm (バネ秤の読み 2.5～7.5kg)

回転トルク 5～15kgcm (バネ秤の読み 0.5～1.5kg)



取付け時の留意点

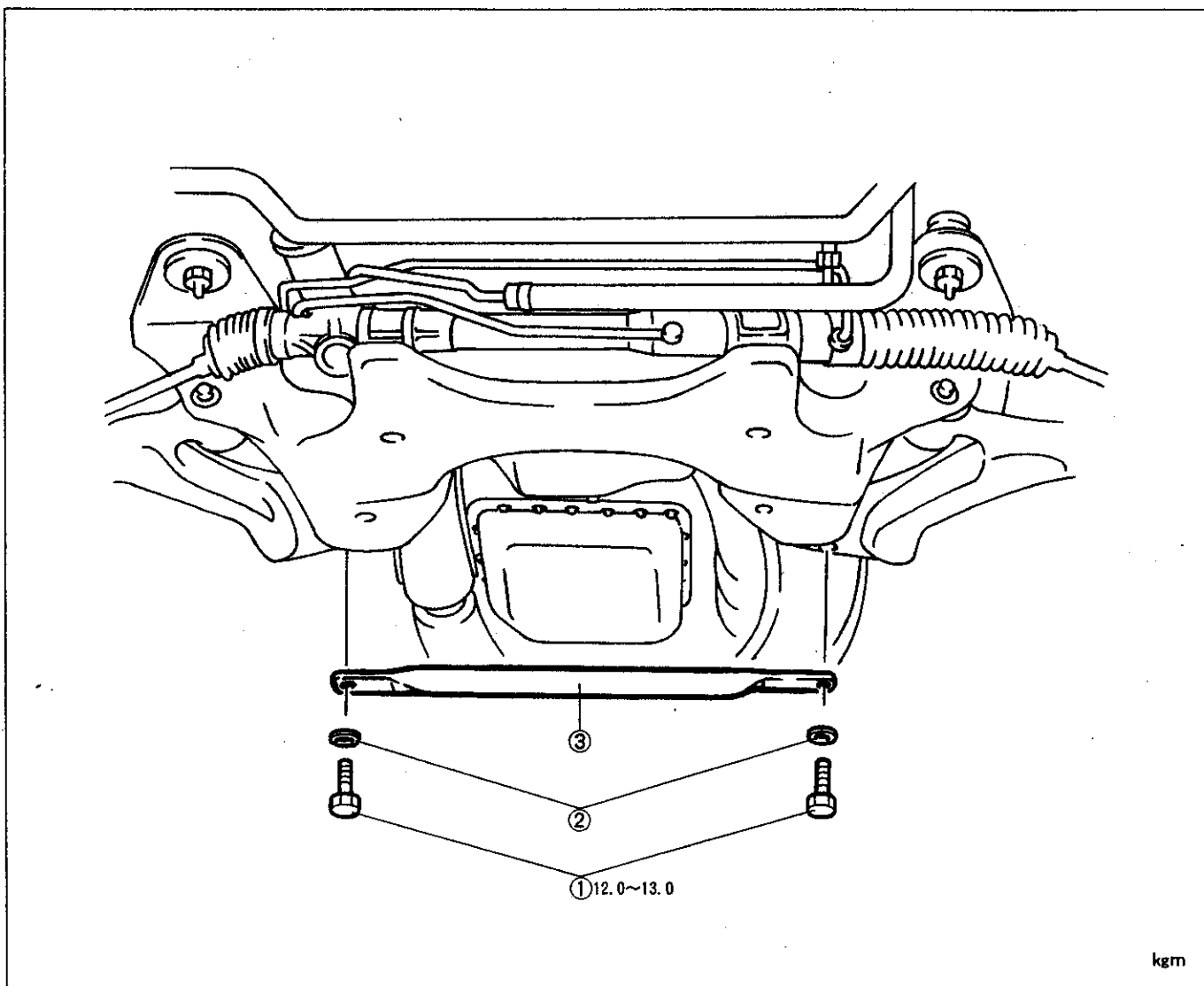
ダスト・ブーツ、クリップ

1. ボール・スタッドの古いグリースを拭き取る。
2. 新品のダスト・ブーツ内にグリースを封入する。
3. ダスト・ブーツをボール・ジョイントに取付ける。
4. SSTを使用して、新品のクリップを取付ける。
5. はみ出たグリースを拭き取る。

クロスメンバ・ブレイス

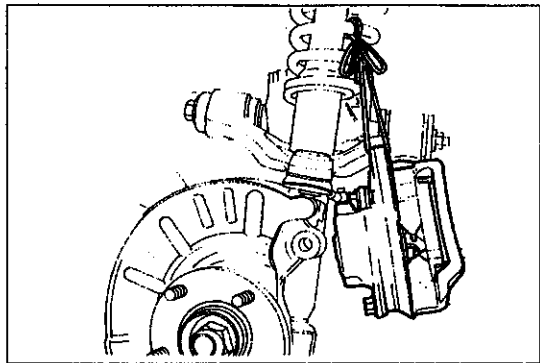
取外し／点検／取付け

1. 車両前部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
2. 図に示す手順で取付ける。
3. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1. ボルト
2. ワッシャ

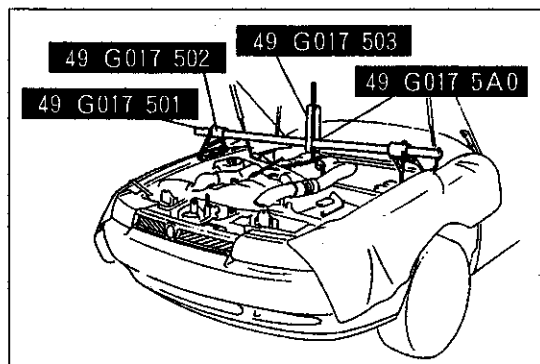
3. クロスメンバ・ブレイス
曲り、損傷がないか点検する



取外し時の留意点

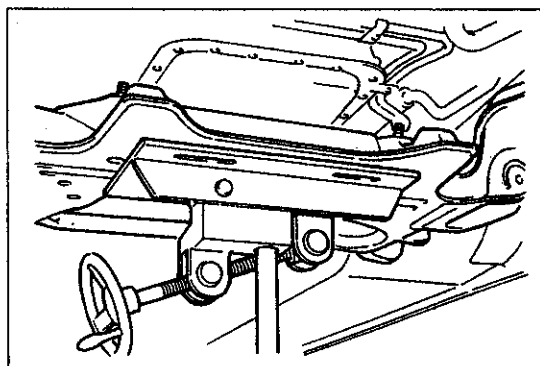
ブレーキ・キャリパ

1. 図示のように、ブレーキ・キャリパをつる。



エンジン・マウント取付けナット

1. 図示のようにSSTをセットする。
2. エンジン・マウント取付けナットを取外す。



クロスメンバASSY

1. ミッション・ジャッキ等をセットしてから、クロスメンバ取付けボルト、ナットを取外す。

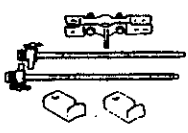
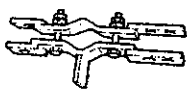
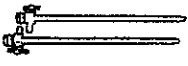
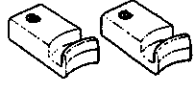
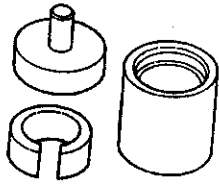
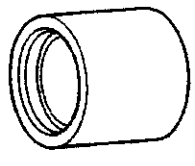

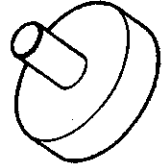

注意

- ・クロスメンバを落下させない。

リヤ・サスペンション (ツイン・ダンパ付きE型マルチリンク)

作業前の準備品

専用工具 (SST)

49 G034 1A0 コイル・スプリング コンプレッサ 	コイル・スプリン グ 分解、組付け用	49 G034 101 ボデー (49 G034 1A0の 構成部品) 	コイル・スプリ ング 分解、組付け用
49 G034 102 スクリュ (49 G030 1A0の 構成部品) 	コイル・スプリ ング 分解、組付け用	49 G034 103 アーム (49 G030 1A0の 構成部品) 	コイル・スプリ ング 分解、組付け用
49 J028 1A0 ダスト・ブーツ・ インストーラ 	リヤ・スタビライ ザ・コントロール ・リンク・ダスト ・ブーツ 取付け用	49 J028 101 ダスト・ブーツ・ インストーラ (49 J028 1A0の 構成部品) 	リヤ・スタビライ ザ・コントロール ・リンク・ダスト ・ブーツ 取付け用
49 J028 102 ガイド (49 028 1A0の 構成部品) 	リヤ・スタビライ ザ・コントロール ・リンク・ダスト ・ブーツ 取付け用	49 J028 103 プロテクタ (49 J028 1A0の 構成部品) 	リヤ・スタビライ ザ・コントロール ・リンク・ダスト ・ブーツ 取付け用
49 0180 510B プリロード・ アタッチメント 	ボール・ジョイン ト 回転トルクの測定 用		

計測器

バネ秤	ボール・ジョイント回転トルク測定用
-----	-------------------

油脂類、その他

汎用グリース	各部塗布用
--------	-------

リヤ・ショック・アブソーバ アンド スプリング/サブ・ダンパ

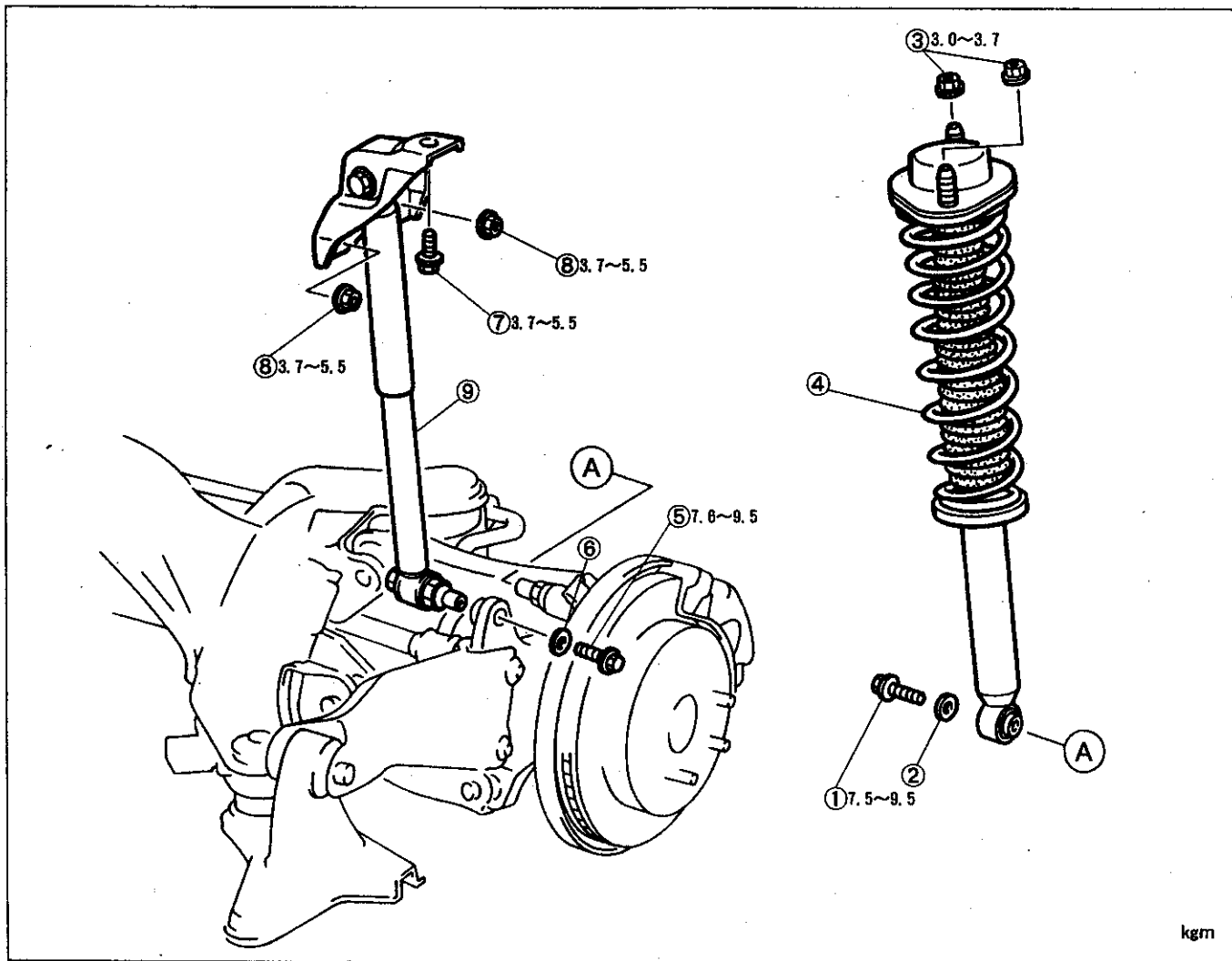
取外し/取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. リヤ・パッケージ・トリムを取外す。(参照：セクションS)
5. 図に示す手順で取外す。
6. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。

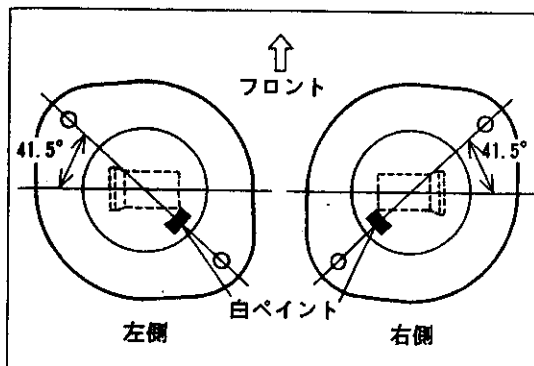
注意

- ・ショック・アブソーバ下側のボルト、ナットは、車両をジャッキ・ダウンし、空車荷重をかけて締付ける。

7. リヤ・ホイール・アライメントを調整する。(参照：p. R-10)



- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ボルト | 5. ボルト |
| 2. ワッシャ | 6. ワッシャ |
| 3. ナット | 7. ボルト |
| 4. ショック・アブソーバASSY | 8. ナット |
| 分解/点検/組付け..... p. R-29 | 9. サブ・ダンパASSY |
| 取付け時の留意点..... p. R-29 | 分解/点検/組付け..... p. R-31 |



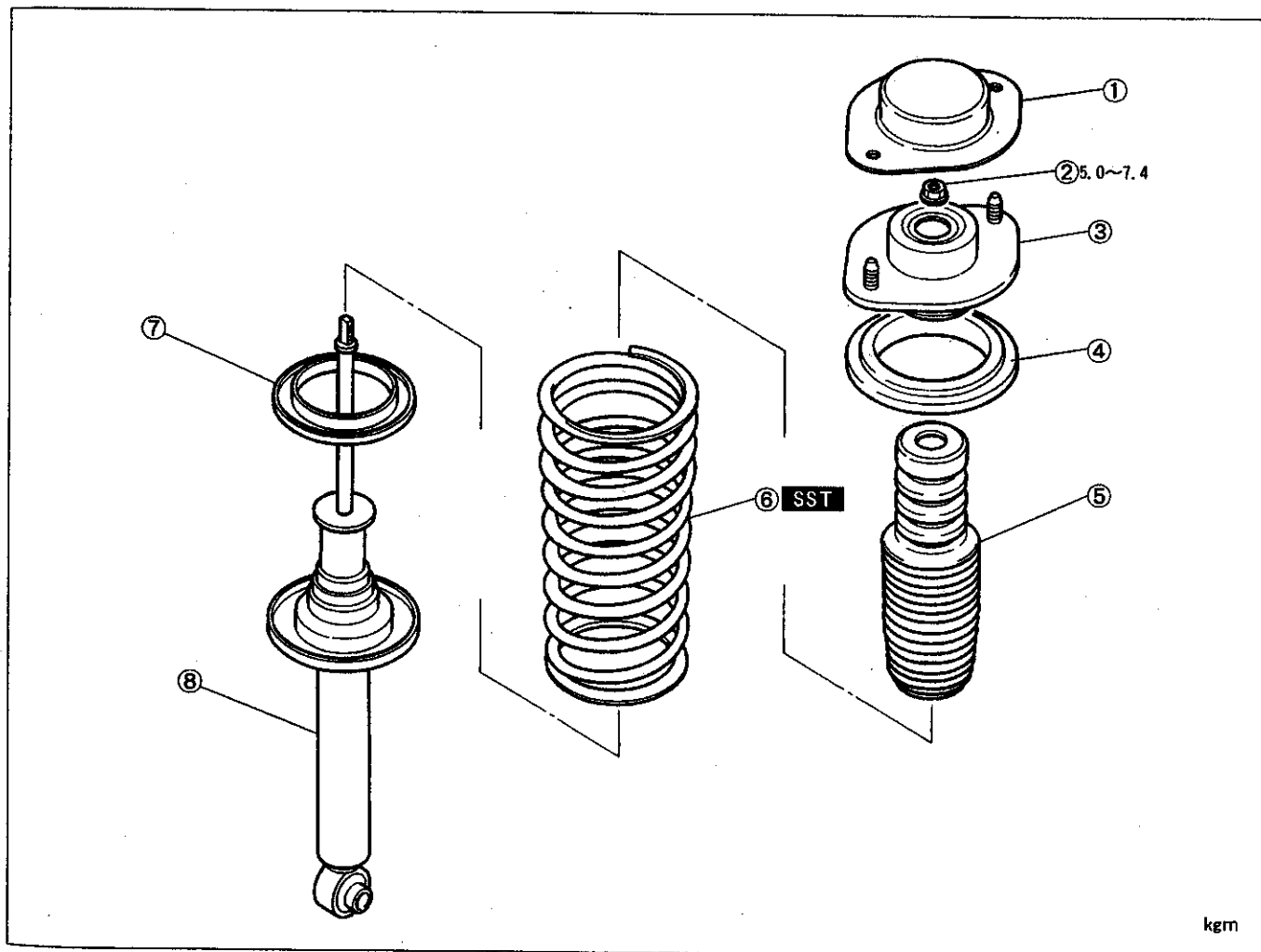
取付け時の留意点

ショック・アブソーバASSY

1. ダンパ・ボトムのテーパ側を車両外側に向けて、ショック・アブソーバASSYを取付ける。

ショック・アブソーバASSY 分解／点検／組付け

1. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検して、不具合部品を交換する。
3. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で組付ける。



1. キャップ

2. ナット

分解時の留意点……p. R-30

組付け時の留意点…p. R-30

3. マウンティング・ラバー

損傷、劣化がないか点検する

組付け時の留意点…p. R-30

4. アッパ・ラバー・シート

損傷、き裂がないか点検する

5. バンプ・ストッパ

損傷、き裂がないか点検する

6. コイル・スプリング

損傷、き裂がないか点検する

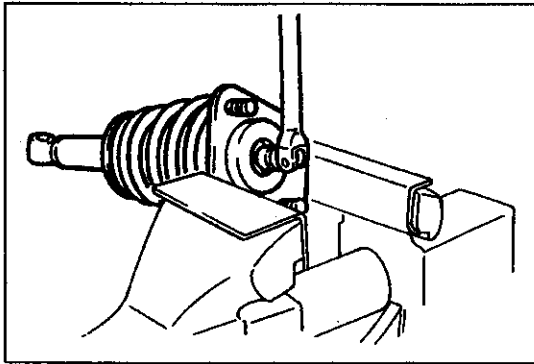
組付け時の留意点…p. R-30

7. ロア・ラバー・シート

損傷、き裂がないか点検する

8. ショック・アブソーバ

点検………p. R-16



分解時の留意点

ナット

1. ショック・アブソーバASSYをバイスで固定する。

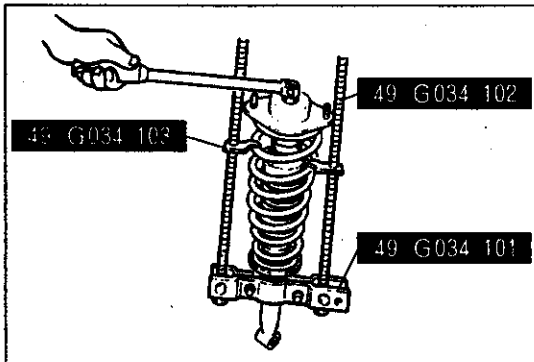
注意

・銅板かウエス等を介してバイスに固定する。

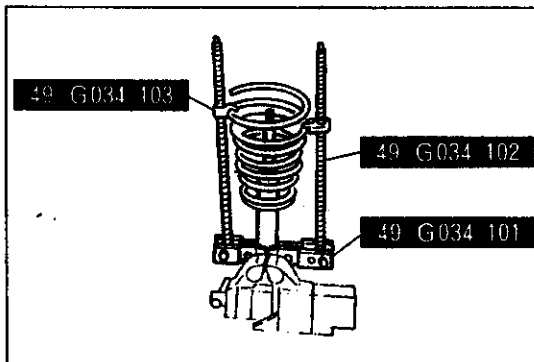
2. ナットを数回転緩める。

注意

・ナットを取外してはならない。



3. SSTを使用してコイル・スプリングを圧縮してからナットを取外す。



組付け時の留意点

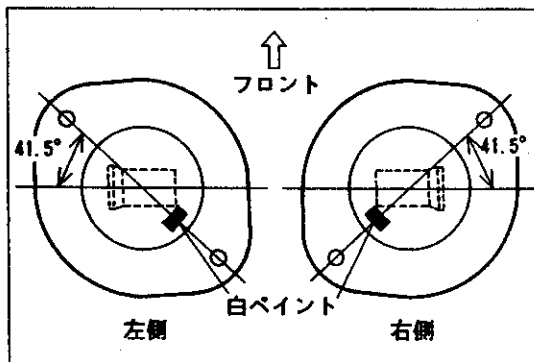
コイル・スプリング

1. ショック・アブソーバをバイスで固定する。

注意

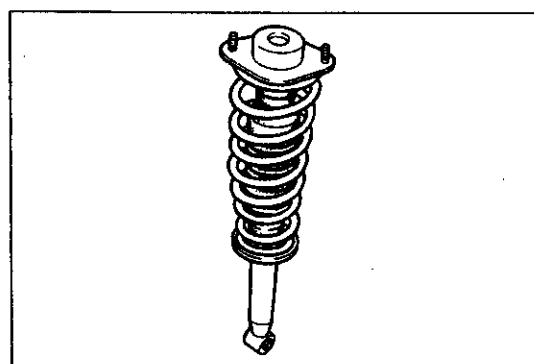
・銅板かウエス等を介してバイスに固定する。

2. SSTを使用して、コイル・スプリングを圧縮する。
3. コイル・スプリングを組付ける。



マウンティング・ラバー

1. 図で示す位相になるように、マウンティング・ラバーをショック・アブソーバに組付ける。

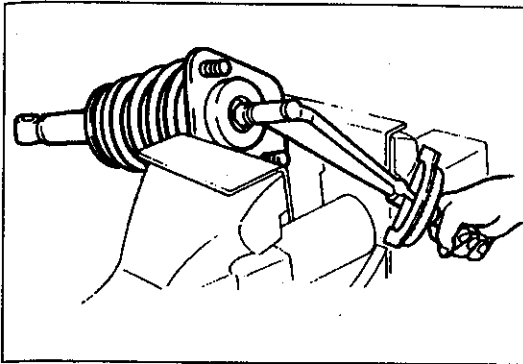


ナット

1. ショック・アブソーバにナットを仮締めする。
2. SST (49 G034 1A0) を取外し、コイル・スプリングの圧縮を解除する。

注意

・コイル・スプリングがアッパ・ラバー・シートおよびロア・ラバー・シートに確実に組付けられているか確認する。



3. ショック・アブソーバの上部をバイスで固定する。

注意

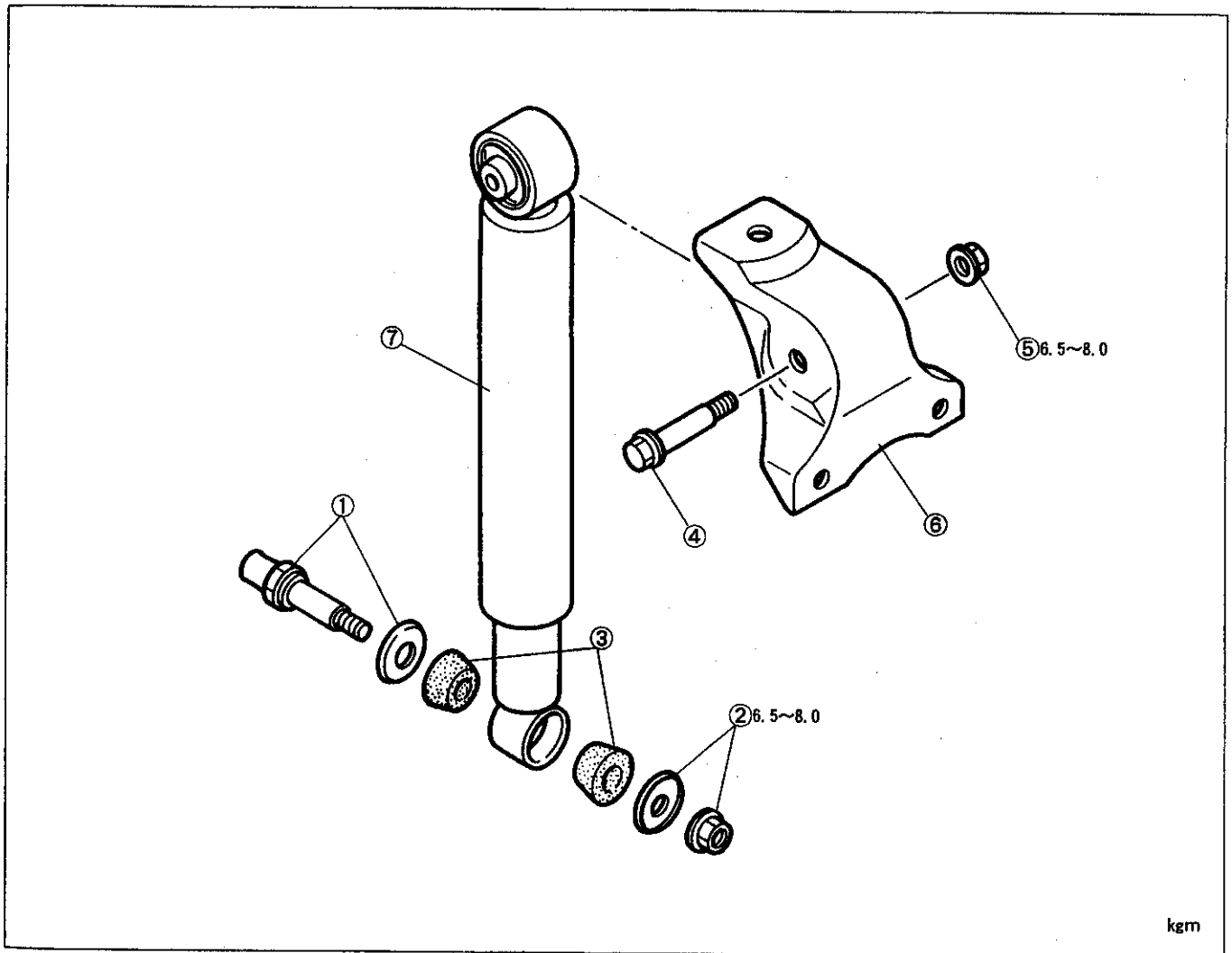
・銅板かウエスを介してバイスで固定する。

4. ナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク 5.0~7.4kgm

サブ・ダンパASSY 分解/点検/組付け

1. 図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
3. 分解と逆の手順で組付ける。



kgm

1. ダンパ・ボルト、ワッシャ
2. ナット、ワッシャ
3. ブッシュ
へたりのないか点検する
4. ボルト

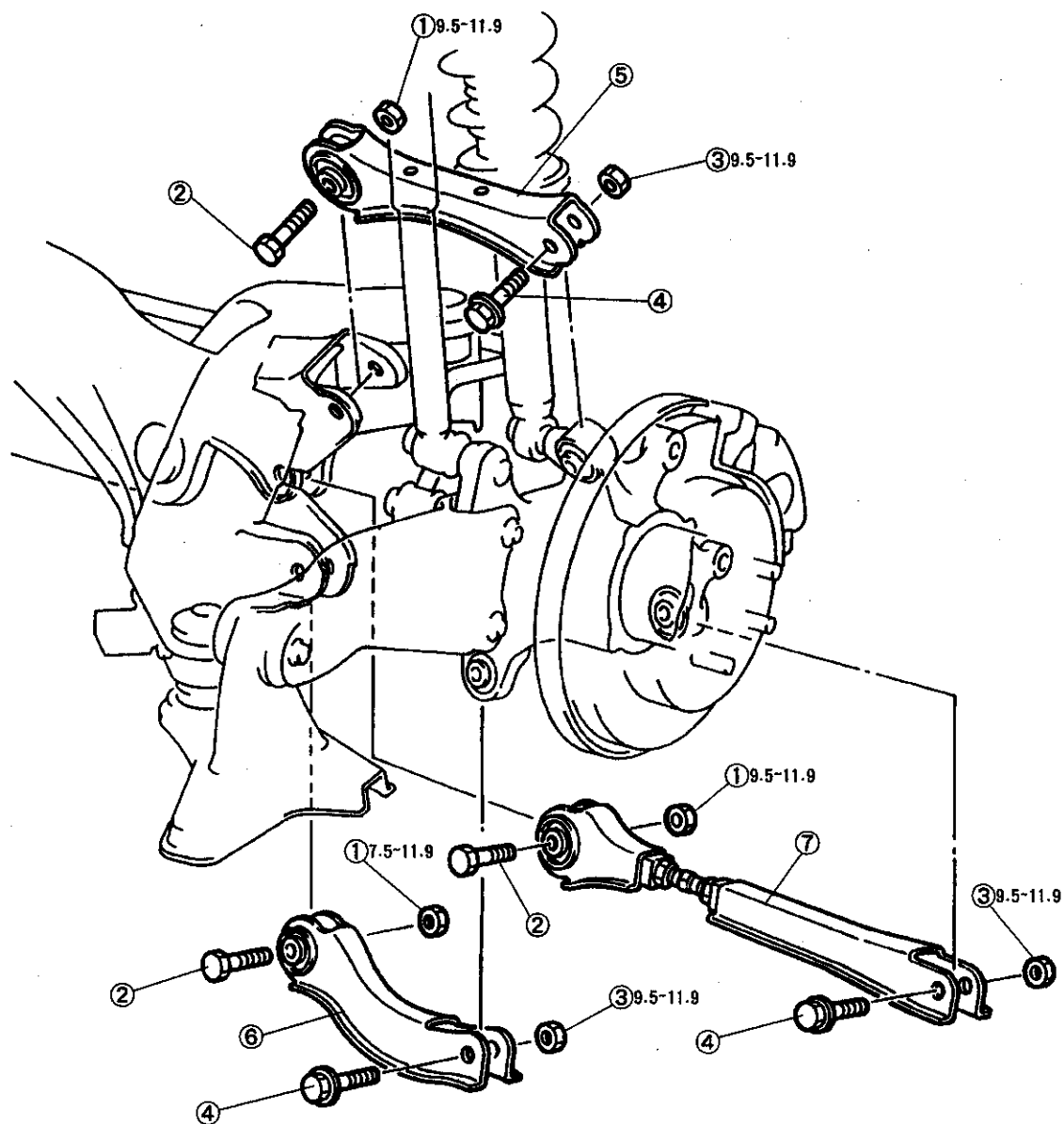
5. ナット
6. ダンパ・ブラケット
7. サブ・ダンパ
ブッシュにへたりのないか点検する

点検..... p. R-16

アッパ・リンク／ロア・リンク

取外し／点検／取付け

1. ホイール・ナットを締付ける。
2. 車両後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 図に示す手順で取外す。
5. 各部品を目視点検して、不具合部品を交換する。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。
7. リヤ・ホイール・アライメントを点検する (参照: p. R-10)



kgm

1. ナット
2. ボルト

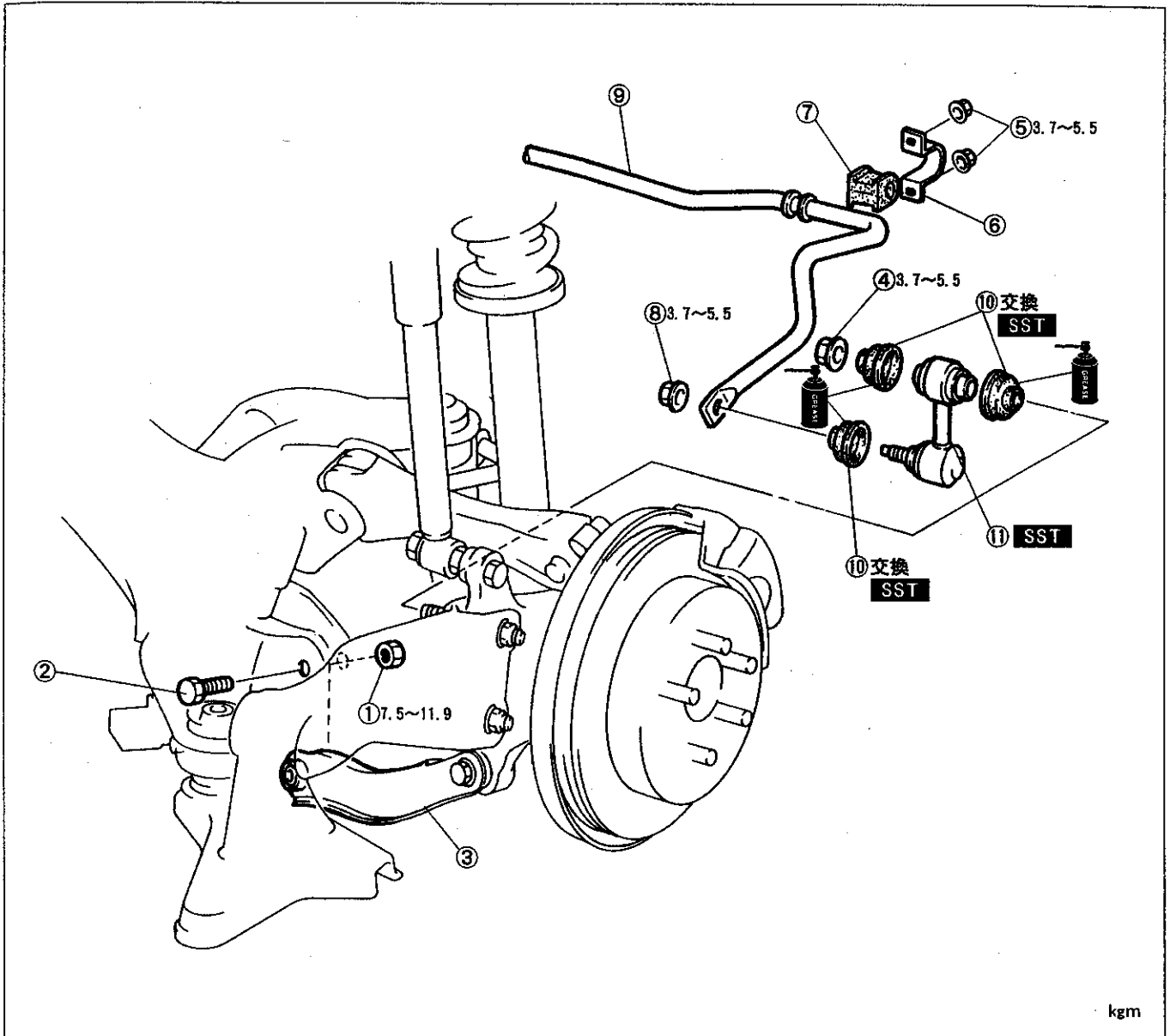
3. ナット
4. ボルト
5. アッパ・リンク
損傷、変形がないか点検する

6. ロア・リンク・フロント
損傷、変形がないか点検する
7. ロア・リンク・リヤ
損傷、変形がないか点検する

リヤ・スタビライザ

取外し／点検／取付け

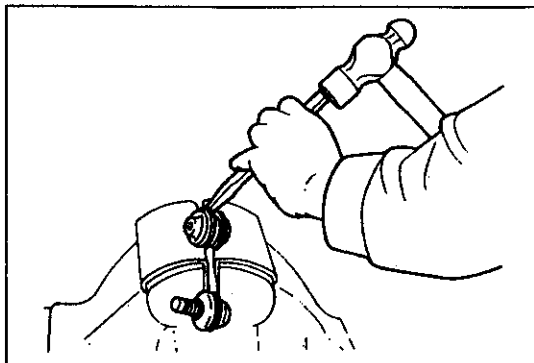
1. 車両後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
2. エグゾースト・パイプを取外す。(参照：セクションF)
3. 取外しの留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
4. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
5. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。
6. リヤ・ホイール・アライメントを点検する。(参照：p. R-10)



1. ナット
2. ボルト
3. ロア・リンク・フロント
4. ナット
5. ナット
6. スタビライザ・プレート

7. スタビライザ・ブッシュ
へたり、摩耗がないか点検する
8. ナット
9. スタビライザ・バー
損傷、変形がないか点検する
取付け時の留意点…p. R-34

10. ダスト・ブーツ
取外し時の留意点…p. R-34
取付け時の留意点…p. R-34
11. スタビライザ・コントロール・リンク
点検……………p. R-34

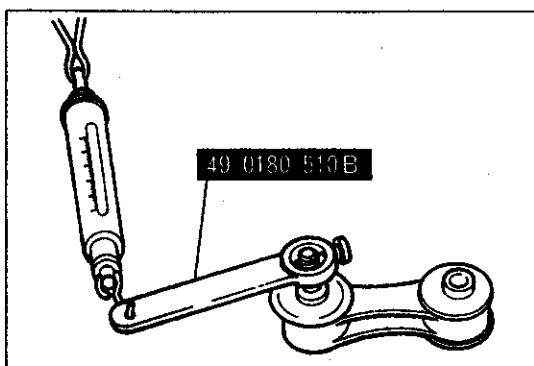


取外し時の留意点 ダスト・ブーツ

注意

- ・スタビライザ・コントロール・リンクのダスト・ブーツ取付け部に、傷を付けないように行う。

1. タガネをハンマを使用して、ダスト・ブーツを取外す。

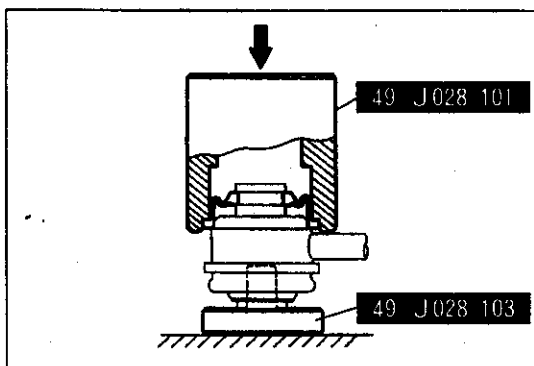


点検

スタビライザ・コントロール・リンク

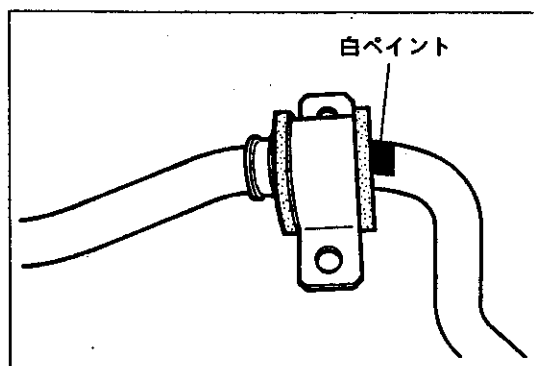
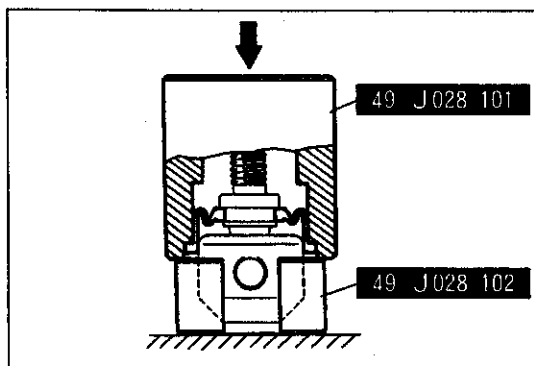
1. 曲り、損傷がないか点検する。
2. ボール・スタッドを5回転させ、5回ゆする。
3. SSTをボール・スタッドに取付け、バネ秤で回転トルクを測定する。

回転トルク 2～10kgcm (バネ秤の読み 0.2～1.0kg)



取付け時の留意点 ダスト・ブーツ

1. 新品のダスト・ブーツ内に純正汎用グリースを封入する。
2. SSTとプレスを使用して、ダスト・ブーツをスタビライザ・コントロール・リンクに取付ける。



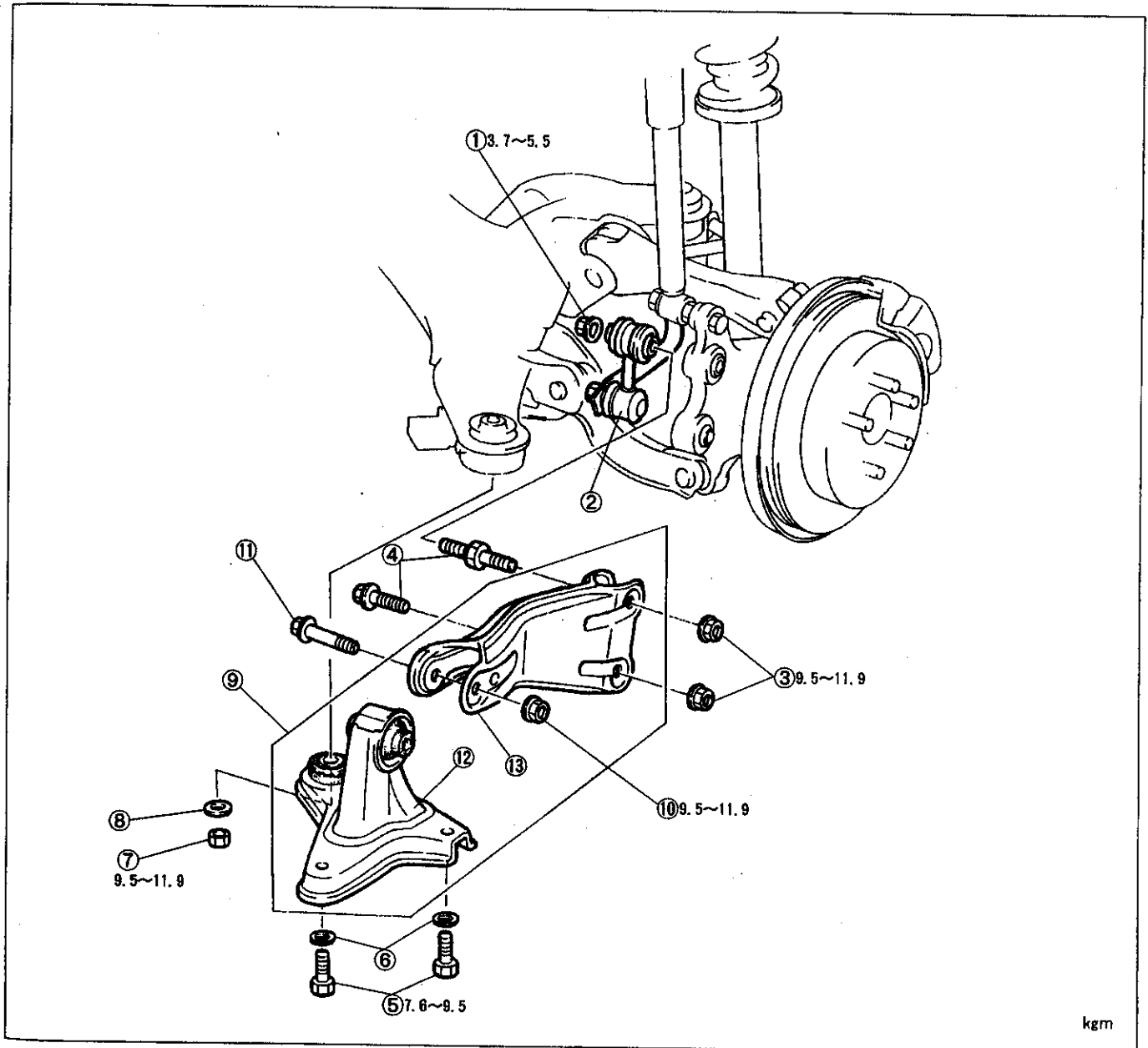
スタビライザ・バー

1. スタビライザ・バーの位置決めペイントが、車両右側にくるようにスタビライザ・バーを取付ける。

トレーリング・アーム

取外し／点検／取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両後部をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 図に示す手順で取外す。
5. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。
7. リヤ・ホイール・アライメントを点検する。(参照：p. R-10)



- | | | |
|----------------------|-------------------|---------------------------------------|
| 1. ナット | 5. ボルト | 11. ボルト |
| 2. スタビライザ・コントロール・リンク | 6. ワッシャ | 12. トレーリング・アーム・ブラケット
損傷、き裂がないか点検する |
| 3. ナット | 7. ナット | 13. トレーリング・アーム
損傷、変形がないか点検する |
| 4. ボルト | 8. ワッシャ | |
| | 9. トレーリング・アームASSY | |
| | 10. ナット | |

サブ・フレーム

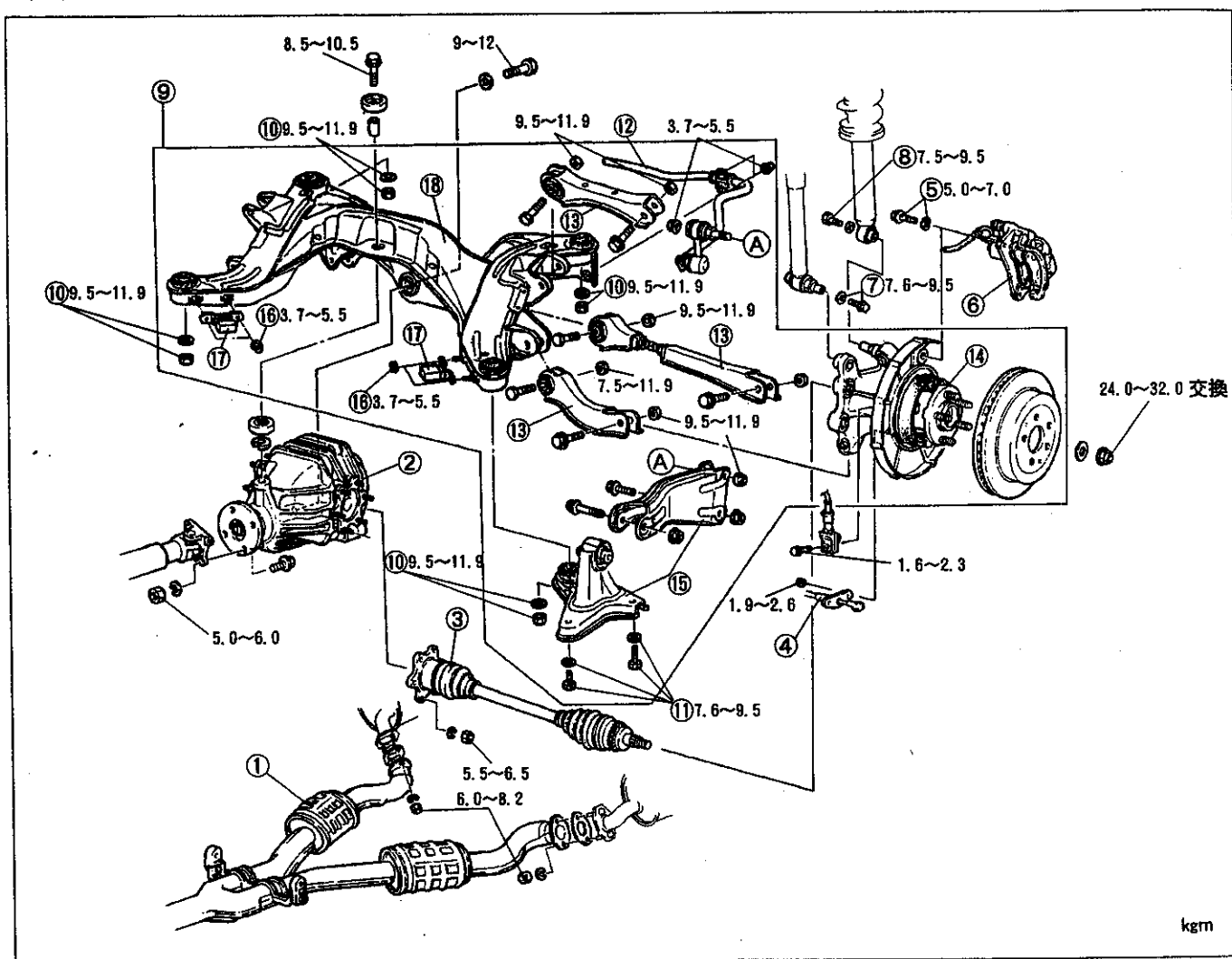
取外し/点検/取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。

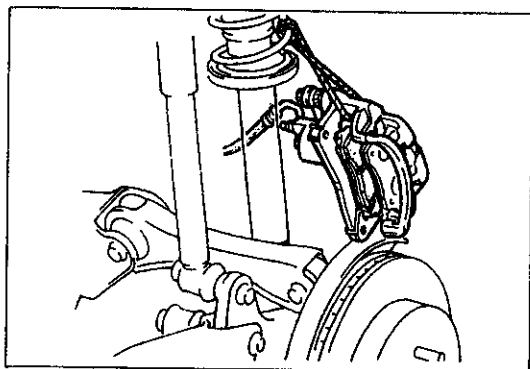
注意

・ショック・アブソーバ下側のボルト、ナットは、車両をジャッキ・ダウンして、空車荷重をかけて締付ける。

7. リヤ・ホイール・アライメントを調整する。(参照: p. R-10)



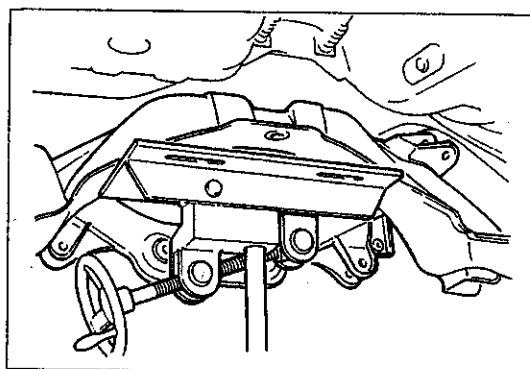
- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. エグゾースト・パイプ
整備……………セクションF | 7. ボルト、ワッシャ | 13. アップ・リンク、ロア・リンク
取外し/点検/取付け…………… |
| 2. ディファレンシャル
整備……………セクションM | 8. ボルト、ワッシャ | ……………p. R-32 |
| 3. ドライブ・シャフト
整備……………セクションM | 9. サブ・フレームASSY
取外し時の留意点…p. R-37 | 14. リヤ・ハブ・サポートASSY |
| 4. リヤ・パーキング・ケーブル
整備……………セクションP | 10. ナット、ワッシャ | 15. トレーリング・アーム
取外し/点検/取付け…………… |
| 5. ボルト、ワッシャ | 11. ボルト・ワッシャ | ……………p. R-35 |
| 6. ブレーキ・キャリパ
取外し時の留意点…p. R-37 | 12. リヤ・スタビライザ
取外し/点検/取付け…………… | 16. ナット |
| | ……………p. R-33 | 17. ダイナミック・ダンパ |
| | | 18. サブ・フレーム
損傷、き裂がないか点検する |



取外し時の留意点

ブレーキ・キャリパ

1. 図示のように、ブレーキ・キャリパをつる。



サブ・フレームASSY

1. ミッション・ジャッキ等をセットしてから、サブ・フレーム取付けボルト、ナットを取外す。

注意

- ・サブ・フレームを落下させない。